

---

---

第 2 部

山口市子ども・子育てに関する  
アンケート調査の結果

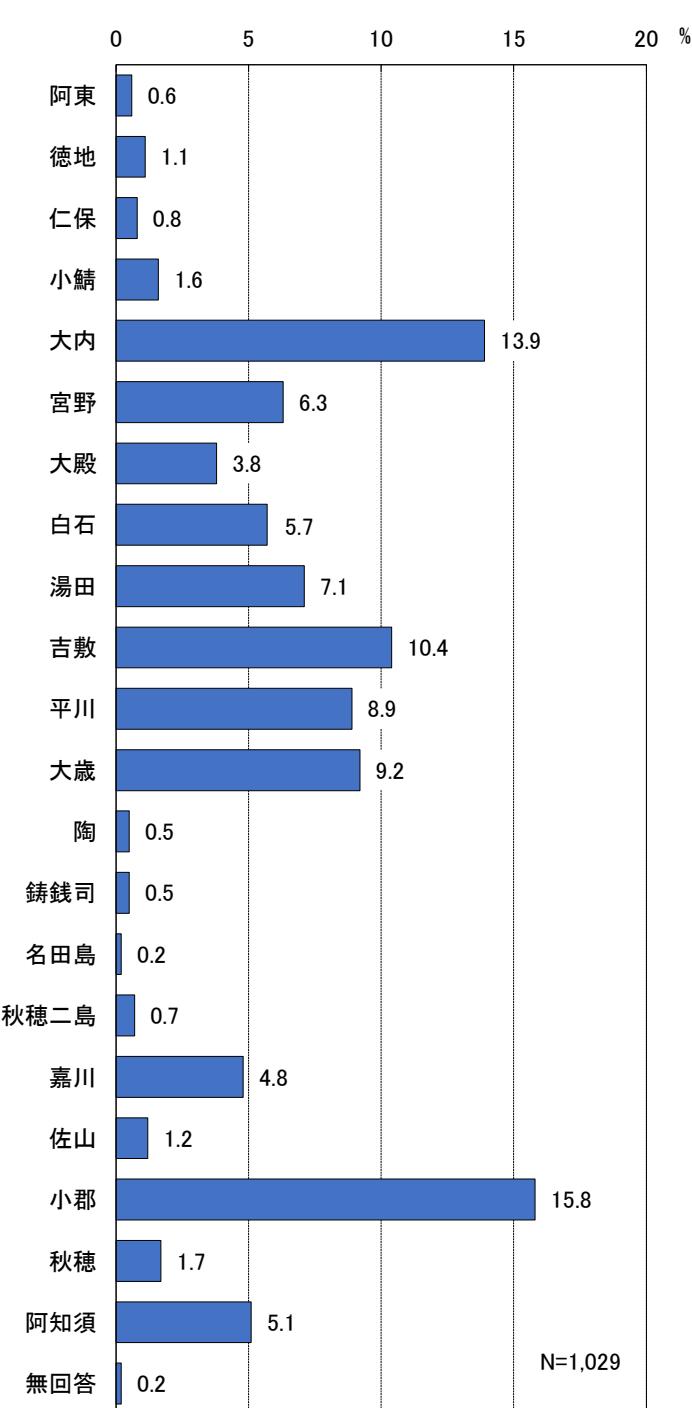
---



## 第1章 就学前児童の保護者に対する調査

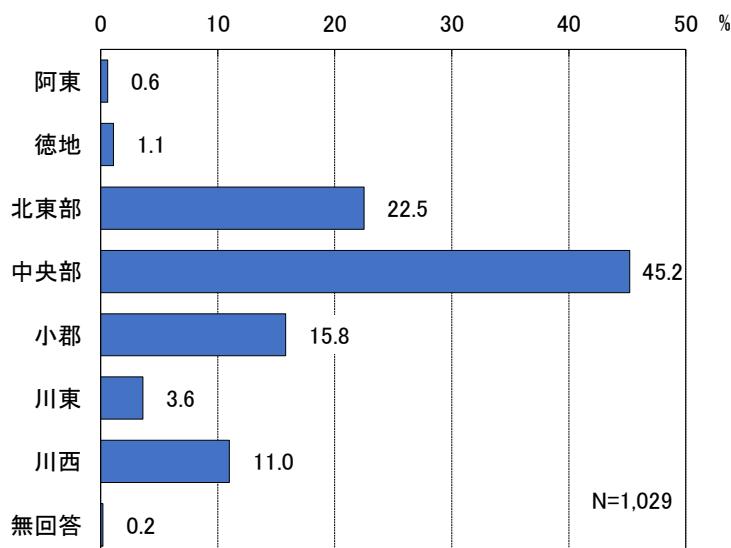
### 1. 家族の状況等について

問1 あなたのお住まいの地域は次のうちどちらですか。（1つだけ○）



- 居住地域については、「小郡」と回答した人の割合が15.8%と最も高く、ほぼ子どもの人口分布を反映した結果となっている。

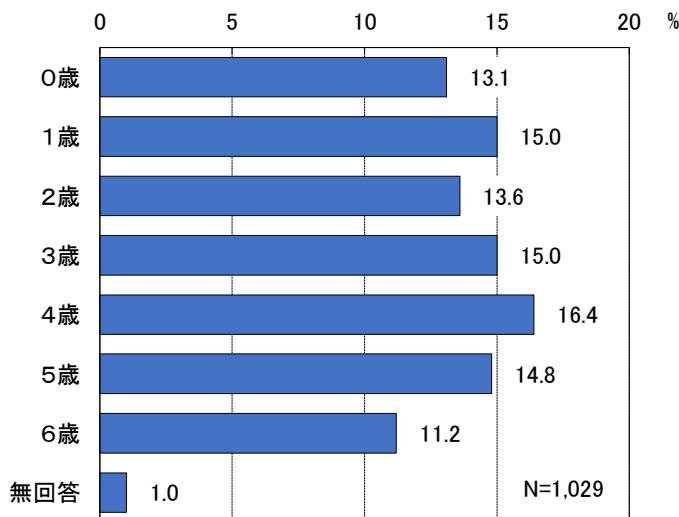
## 【教育・保育の提供区域別回答割合】



- 区域別の回答割合については、「中央部」が45.2%と最も多くなっている。

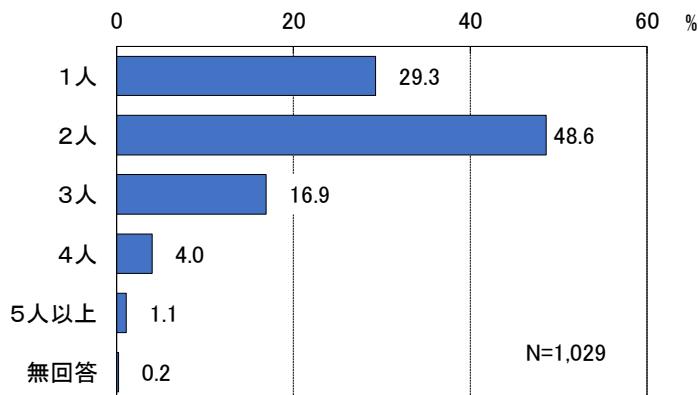
## 問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

## 【調査基準日（令和5年11月13日）現在の年齢】



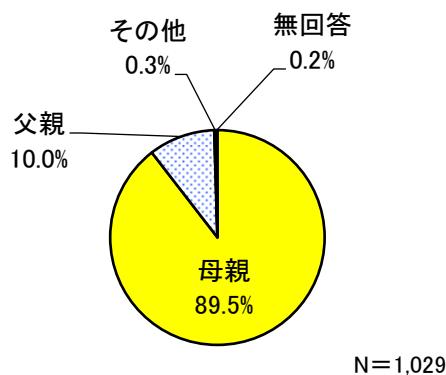
- 子どもの生年月から算出した調査基準日（令和5年11月13日）現在の年齢の分布は上のとおりで、全年齢ほぼまんべんなく回答が集まっている。

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。



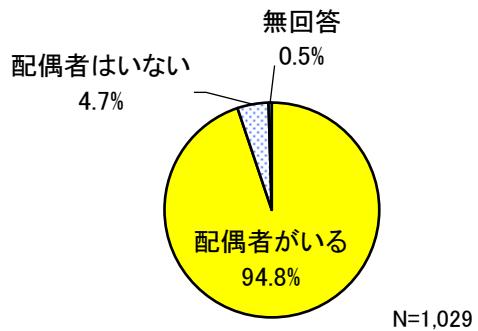
- 対象児童を含むきょうだいの人数では、「2人」という回答割合が 48.6%と最も高く、次いで、「1人」が 29.3%、「3人」が 16.9%となっている。

問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）



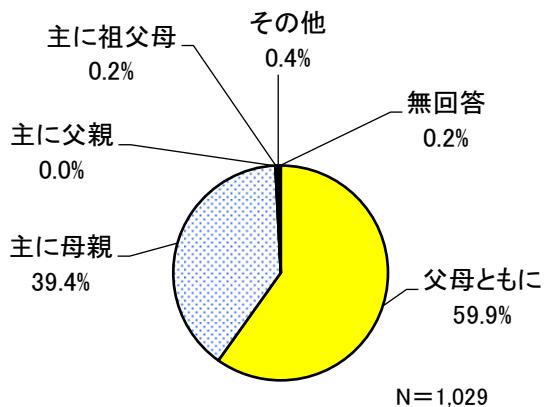
- 回答者は「母親」が 89.5%と圧倒的に多く、「父親」は 10.0%となっている。

問5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



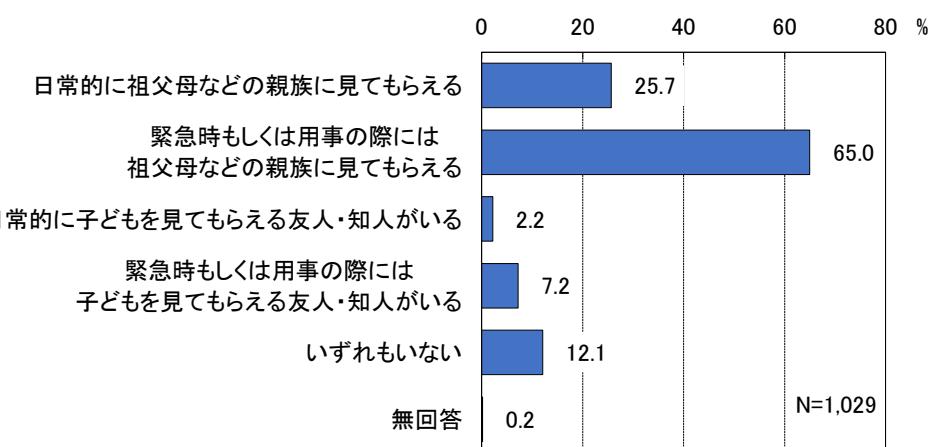
- 回答者の配偶関係を見ると、「配偶者はいない」と回答した人は4.7%となっている。

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）



- 子どもの子育てについては、「父母ともに」行っていると回答した割合が59.9%、「主に母親」が行っていると回答した割合が39.4%となっている。

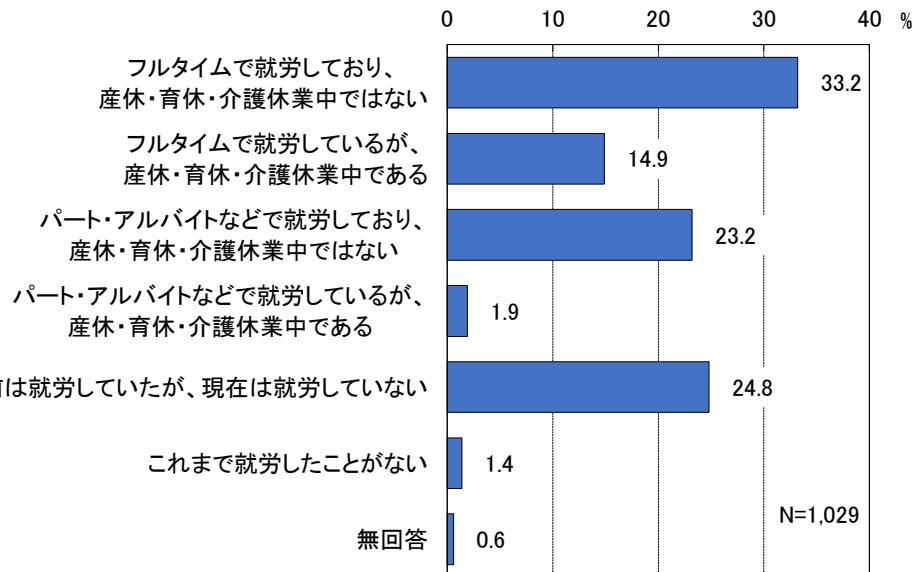
問7 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。  
(あてはまるものすべてに○)



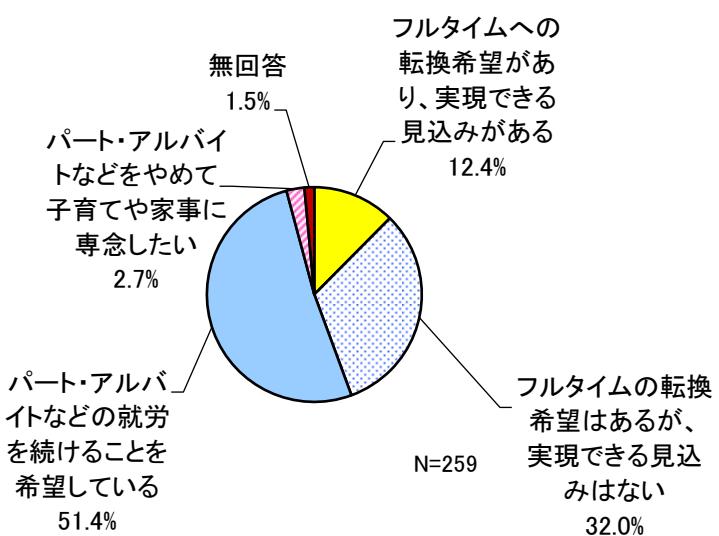
- 緊急時や用事の際にも子どもを預かってもらえる人がいない人の割合は12.1%となっている。

## 2. 保護者の就労状況について

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。  
母親

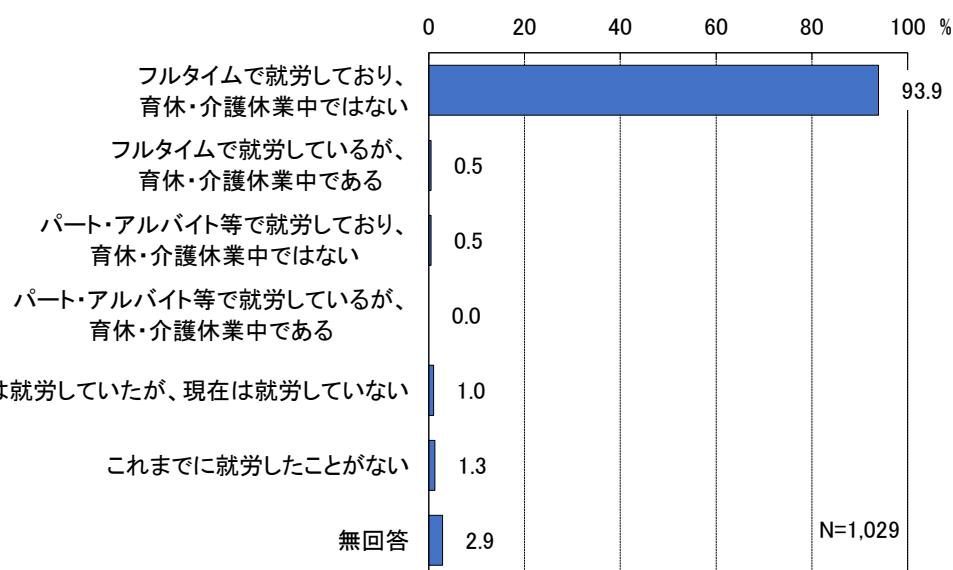


### 【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】

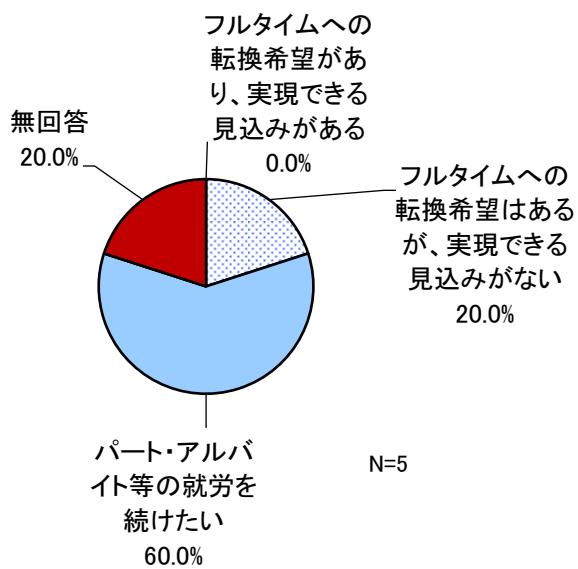


- 母親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、産休・育休・介護休業中の人も含めて 48.1%、同じくパート・アルバイトなどが 25.1% となっている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人のうち、フルタイムへの転換希望がある人は 44.4% となっている。

## 父親



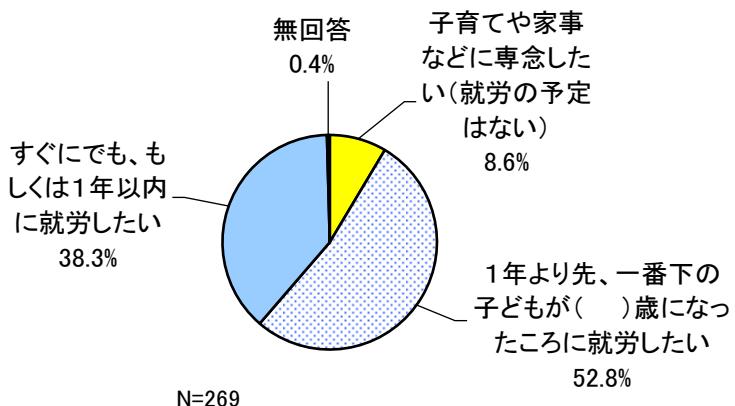
## 【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



- 父親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休・介護休業中の人も含めて94.4%となっており、無回答を除く実際の回答者の大半を占めている。
- パート・アルバイトなどで就労中の父親5人のうちフルタイムへの転換希望がある人は1人(20.0%)となっている。

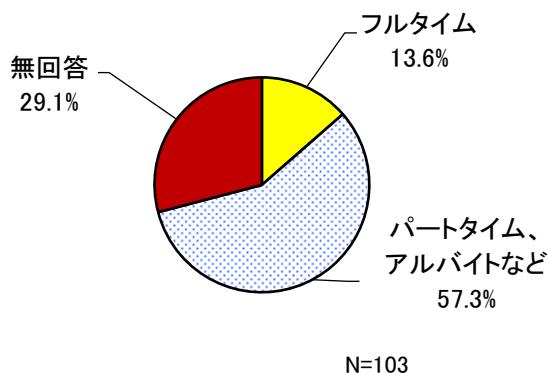
## 母親

## 【非就労者の就労意向】



※( )内は任意の数字

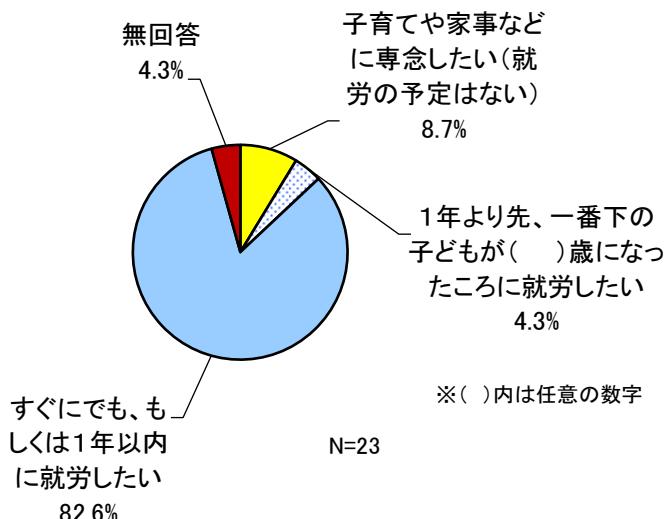
## 【希望する就労形態】



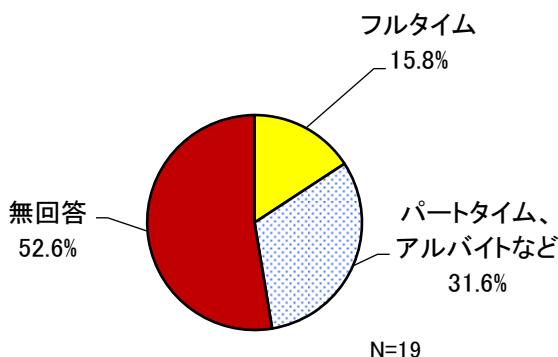
- 現在就労していない母親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が 38.3%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は 52.8%となっており、就労していない母親の 91.1%に就労希望があることがわかる。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パートタイム、アルバイトなど」が 57.3%と高い割合を占めており、「フルタイム」を希望する人の割合は 13.6%となっている。

## 父親

## 【非就労者の就労意向】

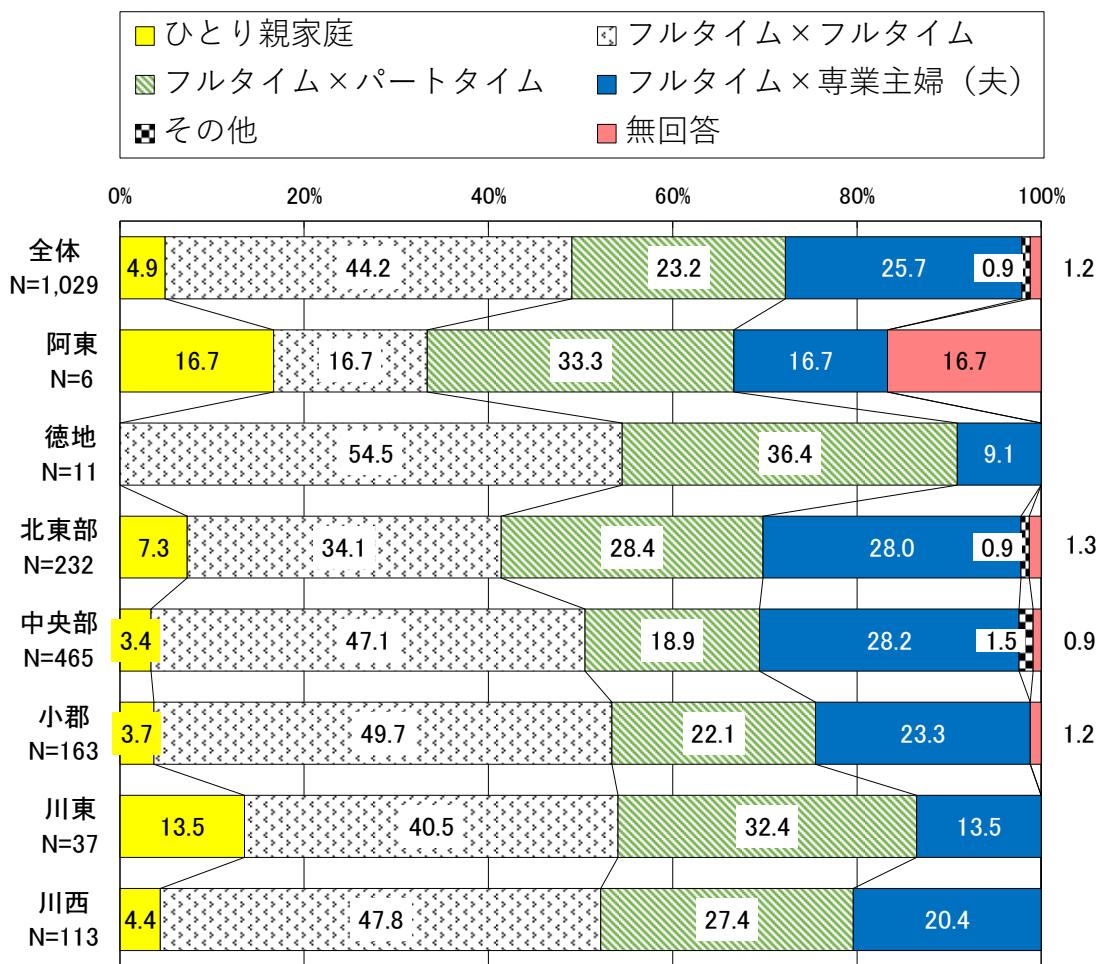


## 【希望する就労形態】



- 現在就労していない父親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が 82.6%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は 4.3%となっており、就労していない父親の 86.9%に就労希望があることがわかる。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した 19 人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「フルタイム」が 3 人、「パートタイム、アルバイトなど」が 6 人となっている。

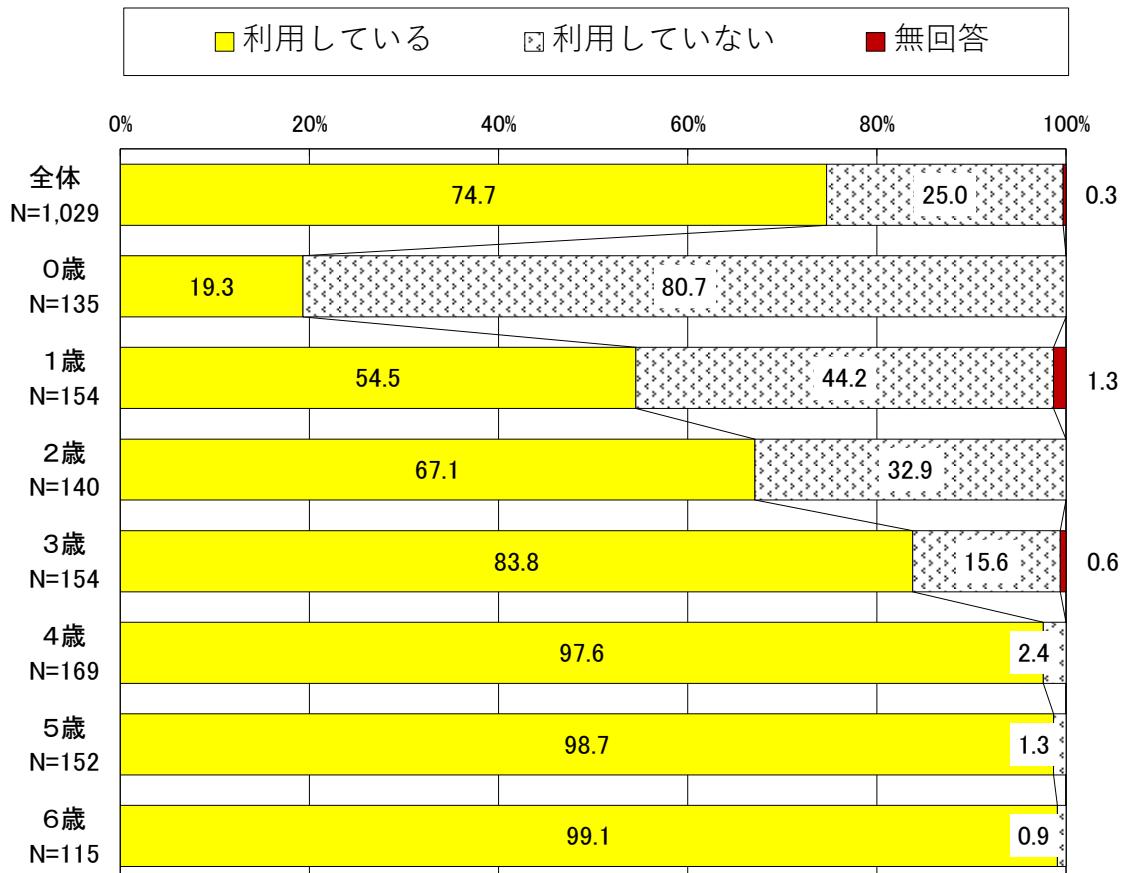
## (3) 現在の家庭類型



- 両親の就労状況から、調査対象者の家庭類型（現状）を分類すると、「フルタイム×フルタイム」が44.2%と最も多く、以下、「フルタイム×専業主婦（夫）」が25.7%、「フルタイム×パートタイム」が23.2%と続いている。
- 区域別に現在の家庭類型を見ると、「北東部」と「中央部」は他の区域に比べ「フルタイム×専業主婦（夫）」の割合がやや高くなっている。

### 3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

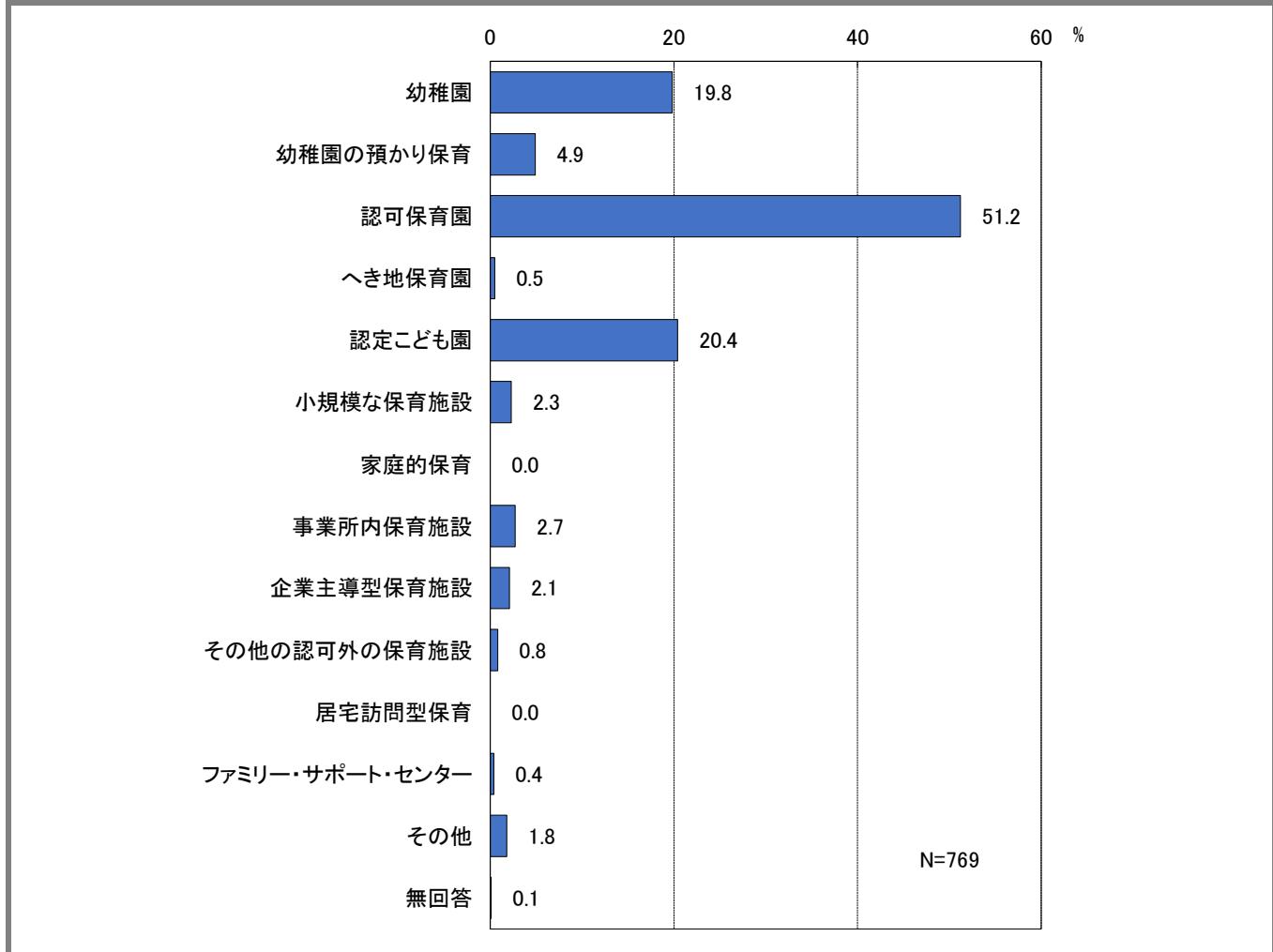
問9 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などを定期的に利用されていますか。



- 現在、幼稚園や保育園などを定期的に「利用している」と回答した人の割合は 74.7%で、子どもの年齢が高くなるにつれて、「利用している」という回答割合も高くなっている。

問9-1～問9-3は、問9で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 宛名のお子さんは、平日どのような施設等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している施設等をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

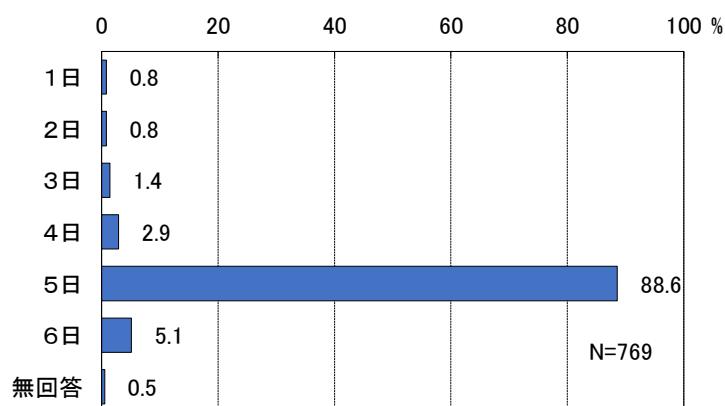


- 「定期的な教育・保育事業」利用者のうち 51.2%は「認可保育園」、20.4%は「認定こども園」、19.8%は「幼稚園」を利用していると回答している。

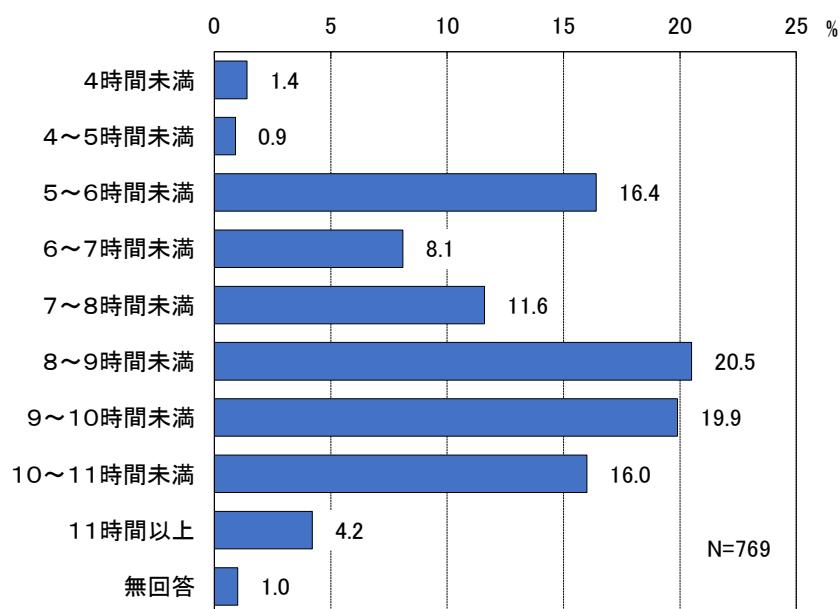
問9-2 平日に定期的に利用している施設等について、どのくらい利用していますか。  
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

## (1) 現在

## 【1週当たりの日数】



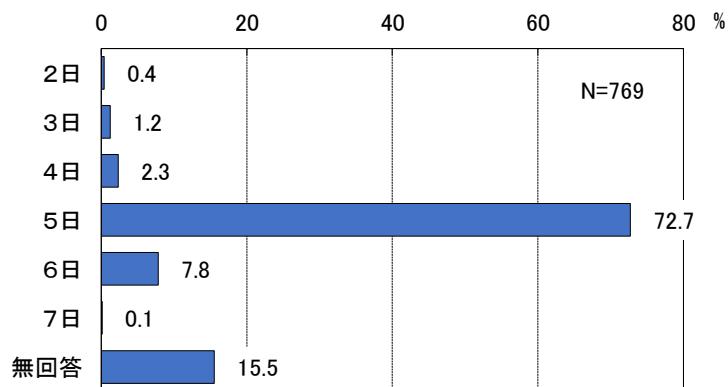
## 【1日当たりの時間数】



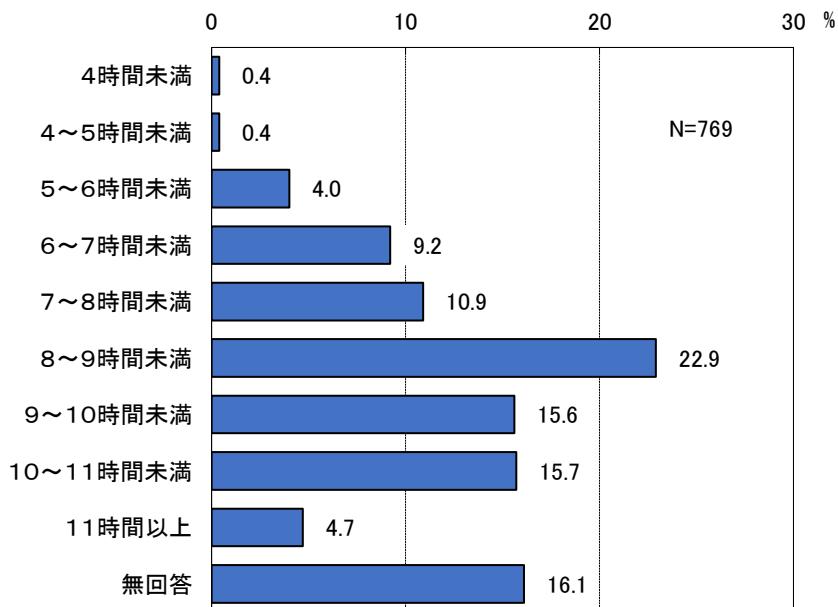
- 教育・保育事業の利用状況については、1週当たり5日、1日当たり9時間程度の利用が多くなっている。

## (2) 希望

## 【1週当たりの日数】



## 【1日当たりの時間数】



- 教育・保育事業の利用希望については無回答が多くなっているが、やはり現状と同様、1週当たり5日、1日当たり9時間程度が最も多くなっている。

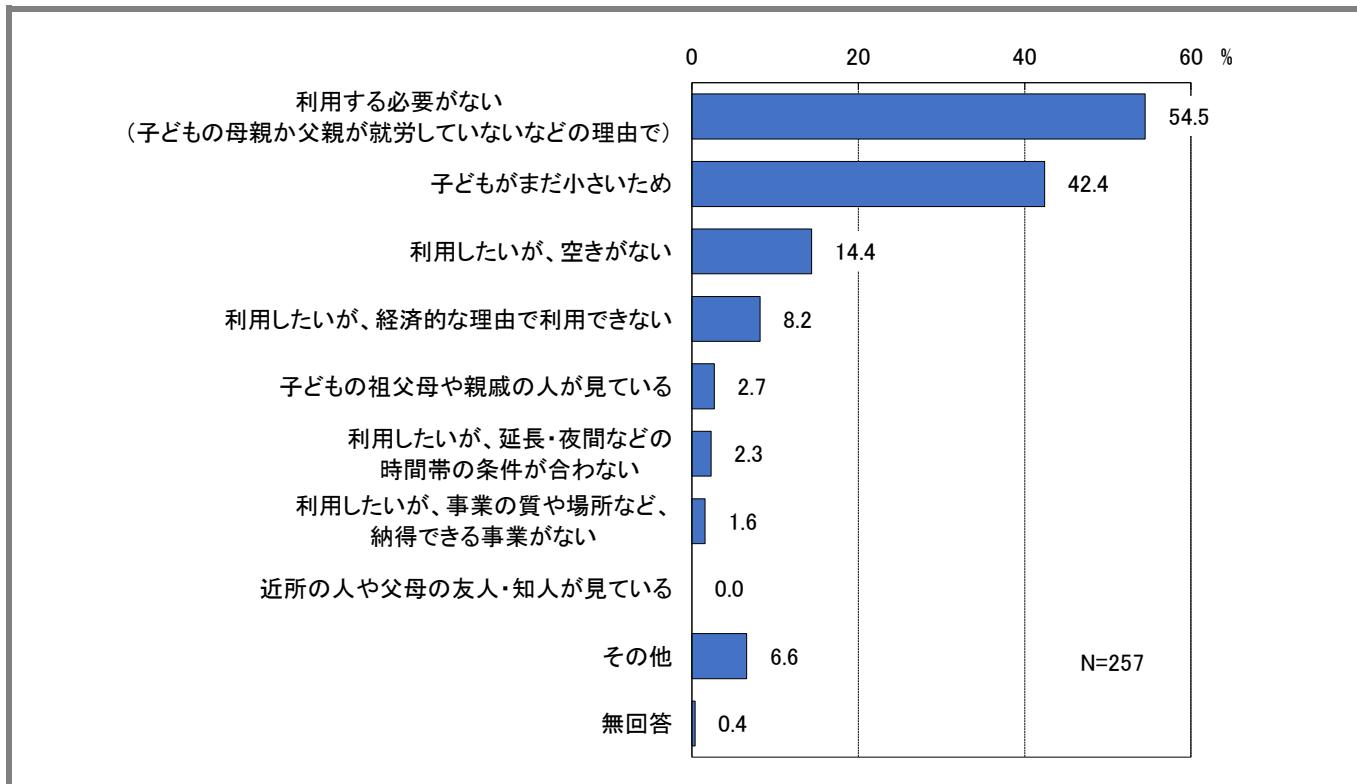
## 問9-3 現在、利用している施設等の地域はどちらですか。



- 現在、利用している施設等の地域については上のとおりで、「市外」と回答した人の割合は2.9%となっている。

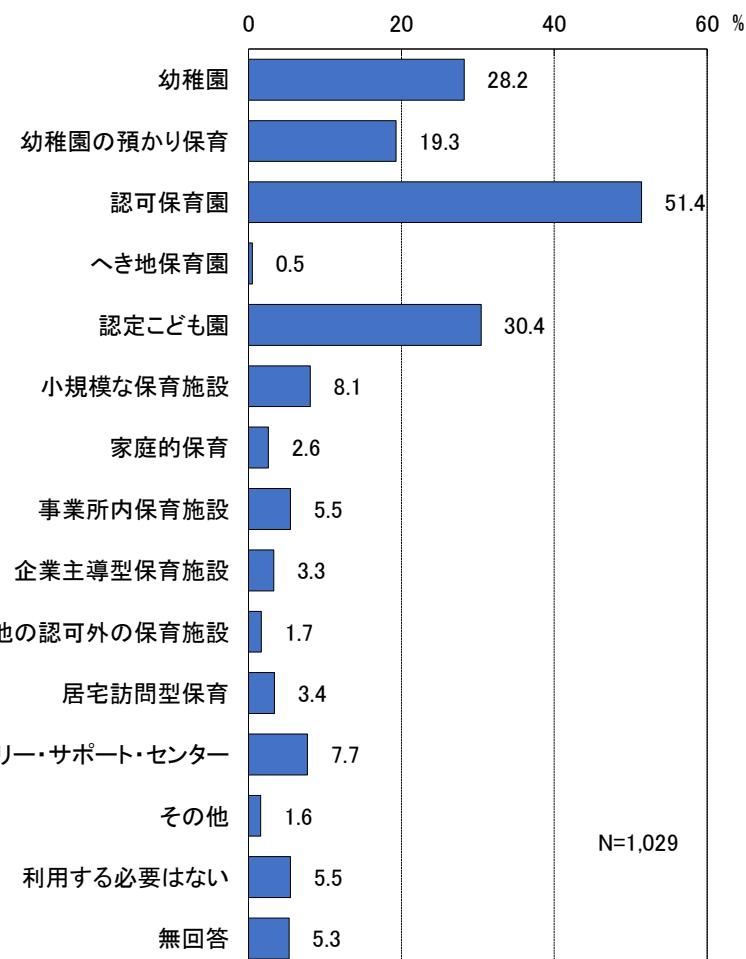
## 問9-4 問9で「2.利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



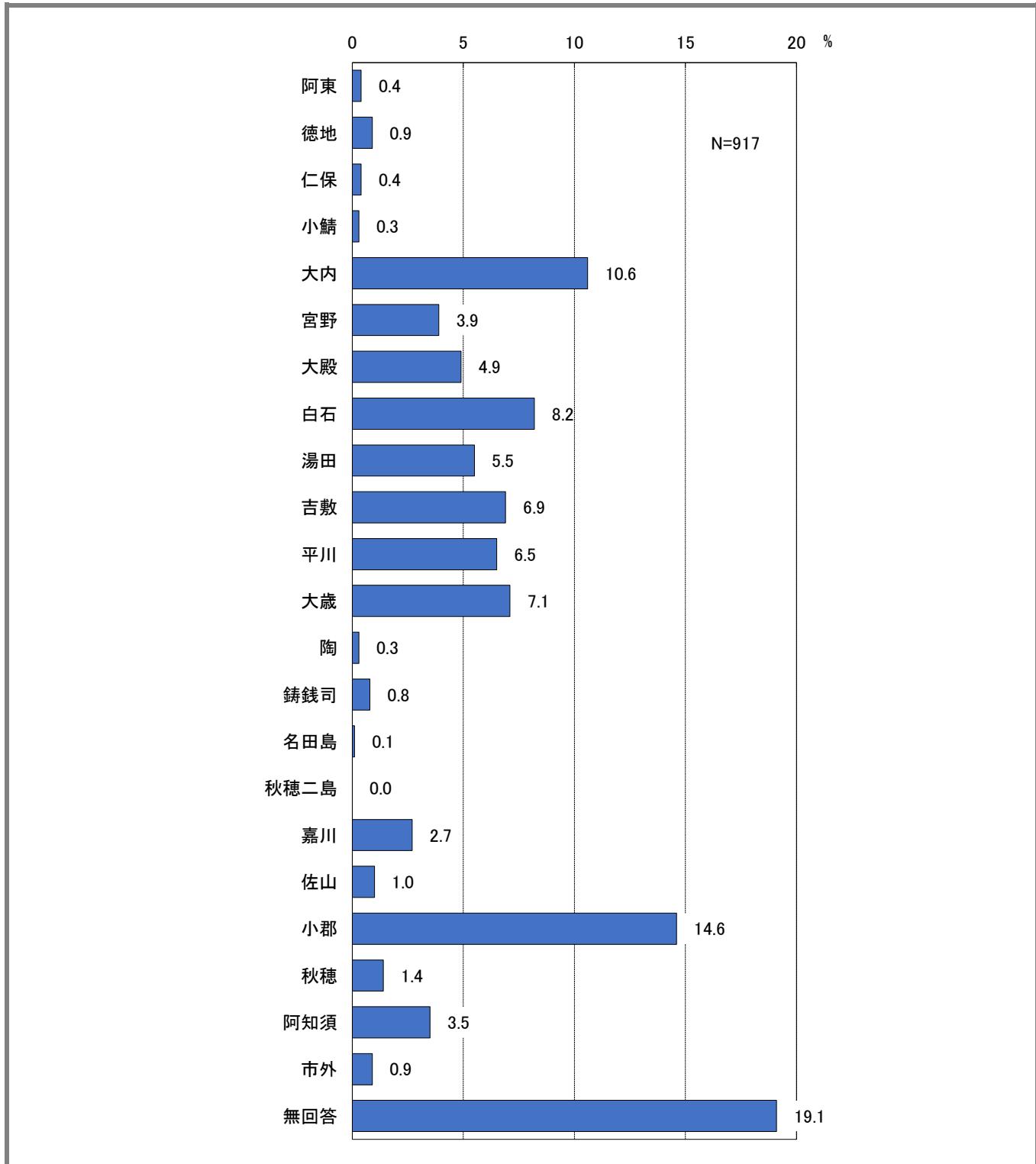
- 「定期的な教育・保育事業」を利用していない方に、その理由を尋ねたところ、「利用する必要がない」(54.5%) や「子どもがまだ小さいため」(42.4%) が上位を占めているが、「利用したいが、空きがない」という回答も 14.4%あり、潜在的な待機児童の存在を裏付ける結果となっている。
- 「その他」の内容については、「育休中だから」という回答が多くなっている。

問10 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の日中に「定期的に」利用したいと考える施設等をお答えください。  
 (あてはまるものすべてに○)



- 現在の利用状況に関わらず、平日の日中の教育・保育事業として「定期的に」利用したいと考える事業を尋ねたところ、「認可保育園」が51.4%と最も多くなっており、「認定こども園」が30.4%、「幼稚園」が28.2%、「幼稚園の預かり保育」が19.3%と続いている。
- 「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認定こども園」の利用意向は、現在の利用状況（問9-1）に比べかなり高くなっているが、これには0～2歳児の将来の利用意向が含まれていることも影響していると思われる。

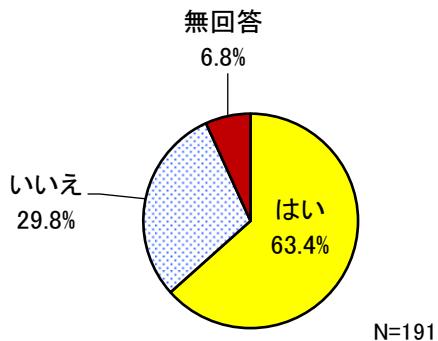
## 問10-1 施設等を利用したい地域はどちらですか。（1つだけ○）



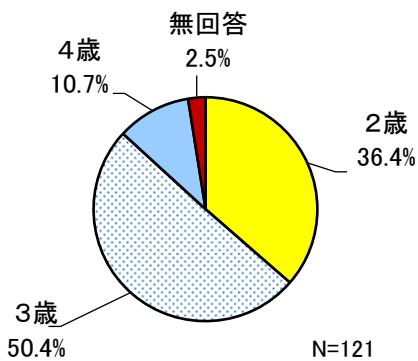
- 施設等を利用したい場所については上のとおりで、「市外」と回答した人の割合は 0.9%となっている。

問10-2 問10で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。

特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。いずれか1つの番号に○をつけ、「1. はい」の場合、（ ）内の記号にも○をつけてください。

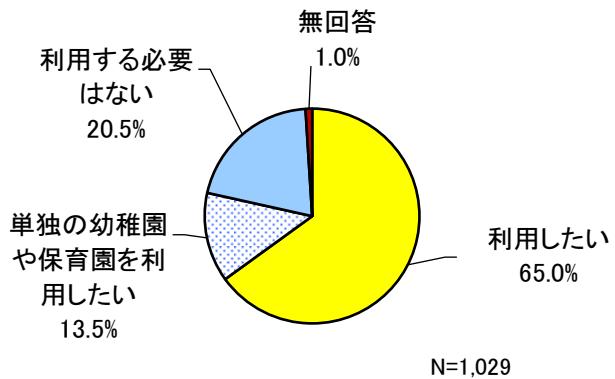


#### 【入園希望年齢】



- 「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」と他の施設等を同時に選択した人のうち、特に幼稚園の利用を強く希望する人の割合は 63.4% となっており、入園希望年齢は「3歳」が 50.4% と最も多くなっている。

問 11 すべての方にうかがいます。近隣の幼稚園や保育園が認定こども園になった場合、その施設を利用したいですか。（1つだけ○）

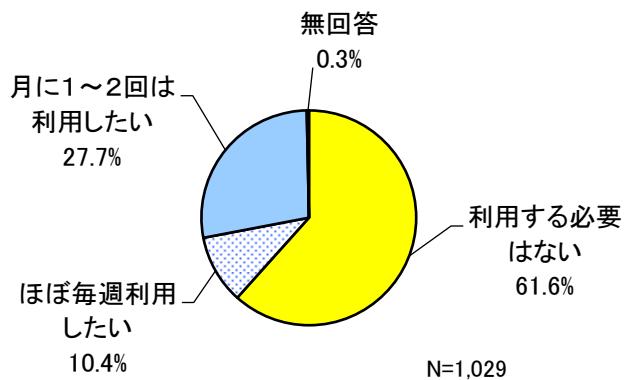


- 近隣の幼稚園や保育園が認定こども園になった場合、その施設を「利用したい」と回答した人の割合は 65.0% となっている。

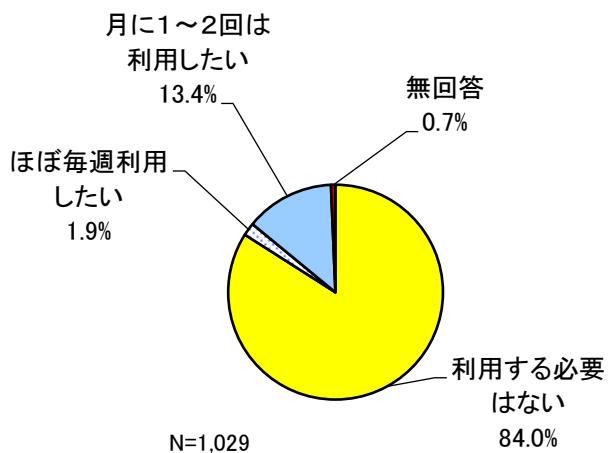
#### 4. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

問12 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

##### 【土曜日】

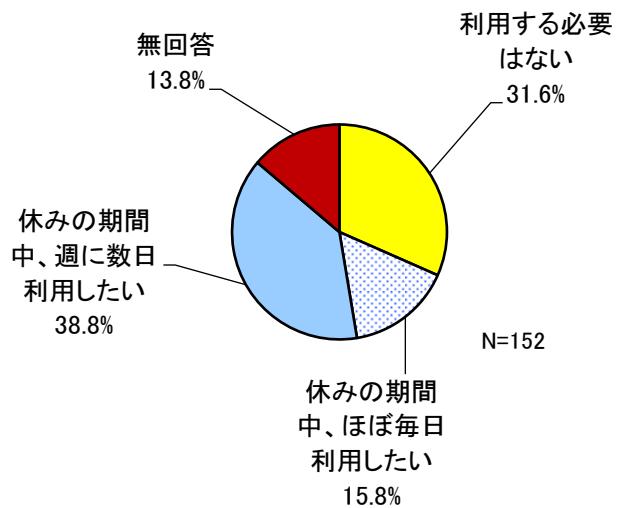


##### 【日曜日・祝日】



- 土曜日の定期的な教育・保育事業については、10.4%の人が「ほぼ毎週利用したい」と回答しており、「月に1～2回は利用したい」(27.7%)と回答した人を合わせると、38.1%の人が利用したいと考えていることがわかる。
- 日曜日・祝日については、「ほぼ毎週利用したい」と回答した人は1.9%で、「月に1～2回は利用したい」と回答した人も13.4%となっており、土曜日に比べ利用希望は少なくなっている。

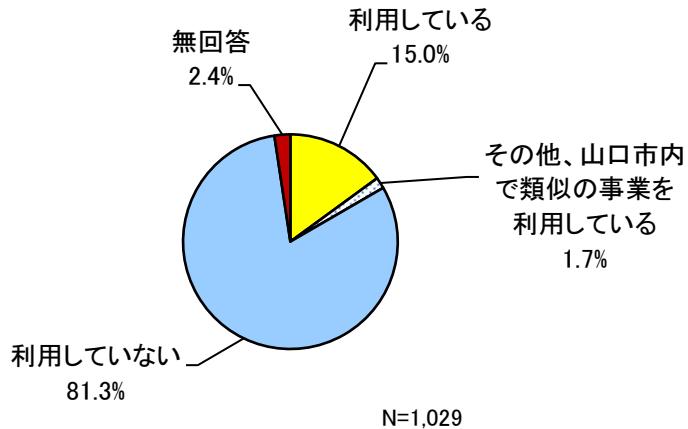
問13 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。



- 幼稚園利用者に長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望を尋ねたところ、15.8%の人が「ほぼ毎日利用したい」と回答しており、「週に数日利用したい」(38.8%)と回答した人を合わせると、54.6%の人が利用したいと考えていることがわかる。

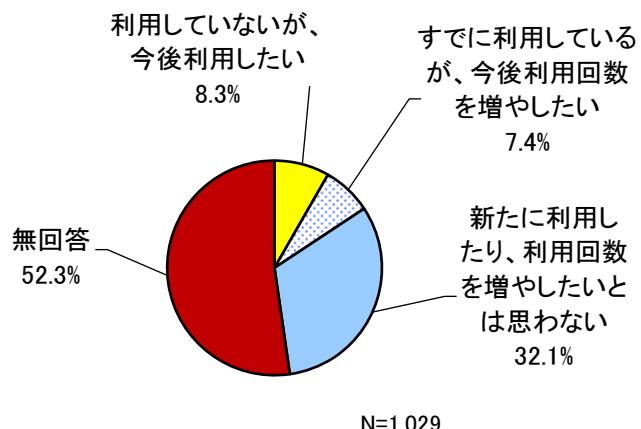
## 5. 子育て支援事業の利用状況について

問14 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。あてはまる番号に○をつけてください。



- 現在、地域子育て支援拠点事業を利用していると回答した人の割合は15.0%となっている。

問15 問14のような施設について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

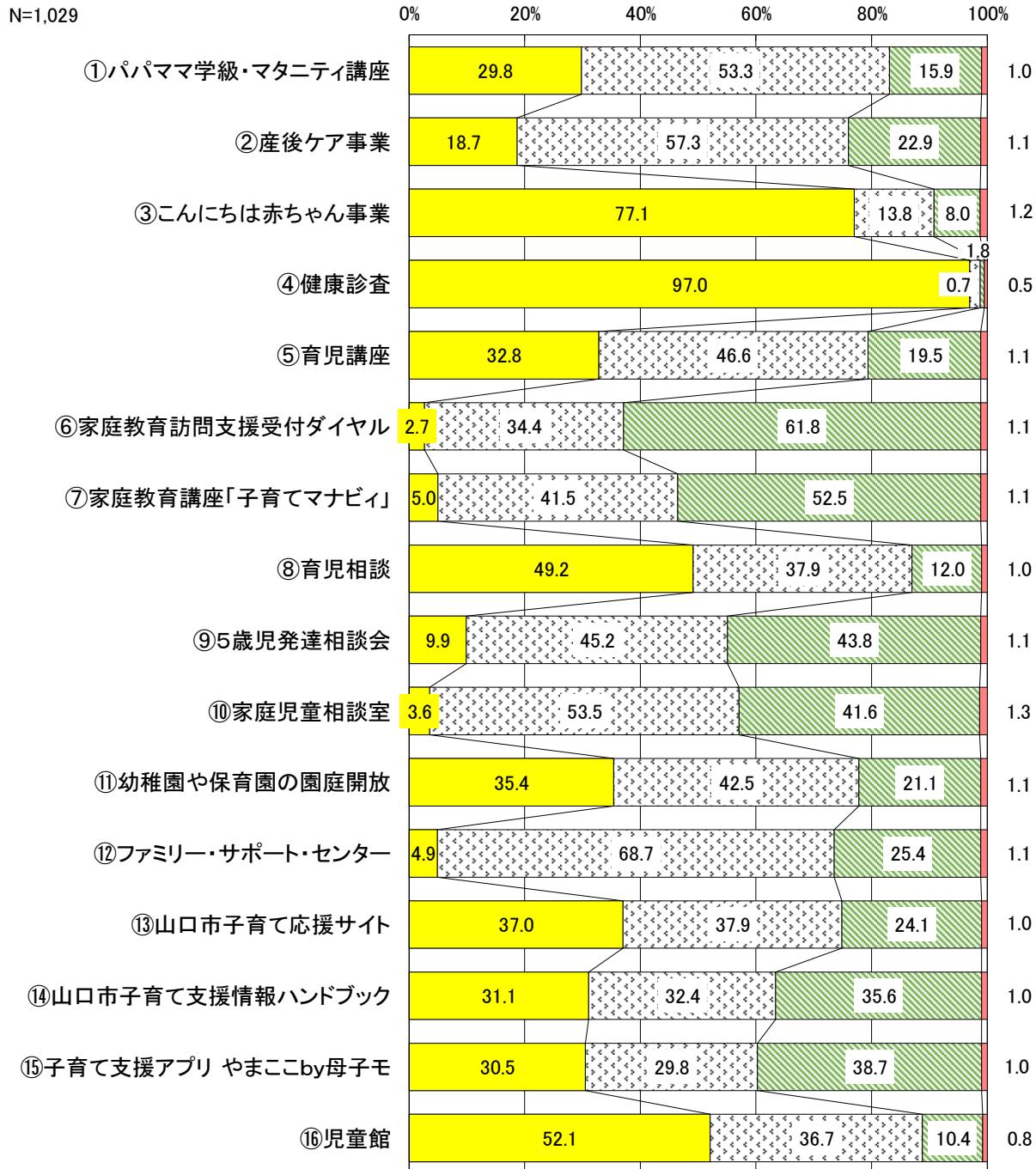


- 現在、地域子育て支援拠点事業を「利用していないが、今後利用したい」と回答した人の割合は8.3%、「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」と回答した人の割合は7.4%となっている。

問16 下記の事業をこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。①～⑯の事業について、「認知度・利用状況」、「今後の利用意向」ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

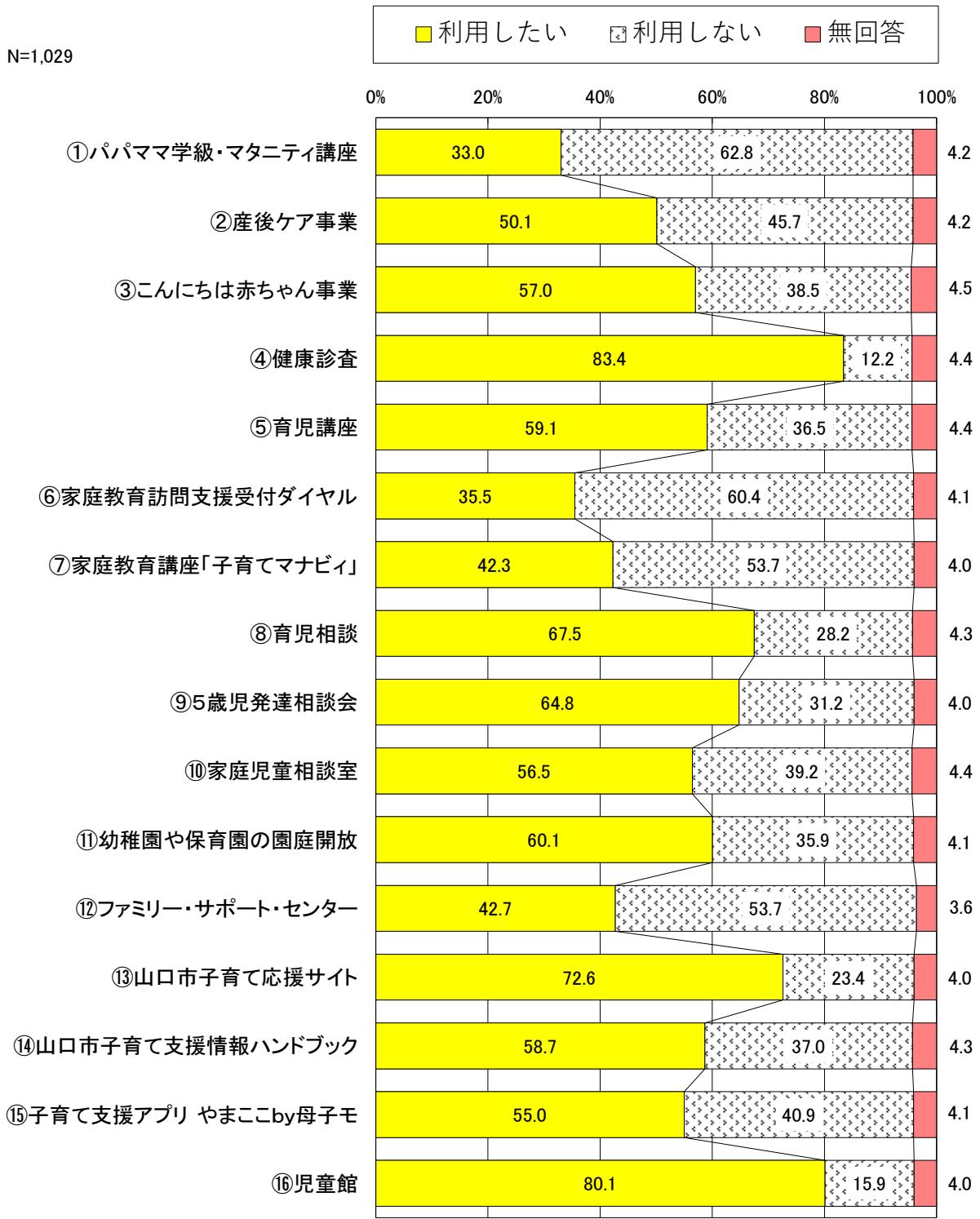
### 【認知度・利用状況】

■ 利用したことがある □ 知っているが、利用したことがない ■ 知らない ▨ 無回答



- 16の事業のうち、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も高かったのは、「健康診査」(97.0%) で、「こんにちは赤ちゃん事業」(77.1%) がそれに続いている。
- 認知度が最も低かったのは「家庭教育訪問支援受付ダイヤル」で、61.8%の人が「知らない」と回答している。

## 【今後の利用意向】

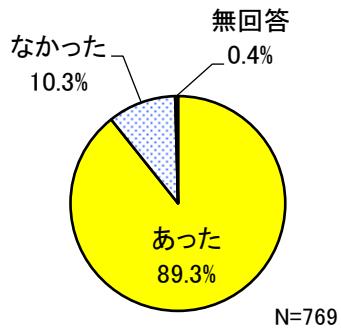


- 今後の利用意向が最も高かったのは「健康診査」(83.4%)で、以下、「児童館」(80.1%)、「山口市子育て応援サイト」(72.6%)、「育児相談」(67.5%)、「5歳児発達相談会」(64.8%)と続いている。

## 6. 子どもの病気等の際の対応について

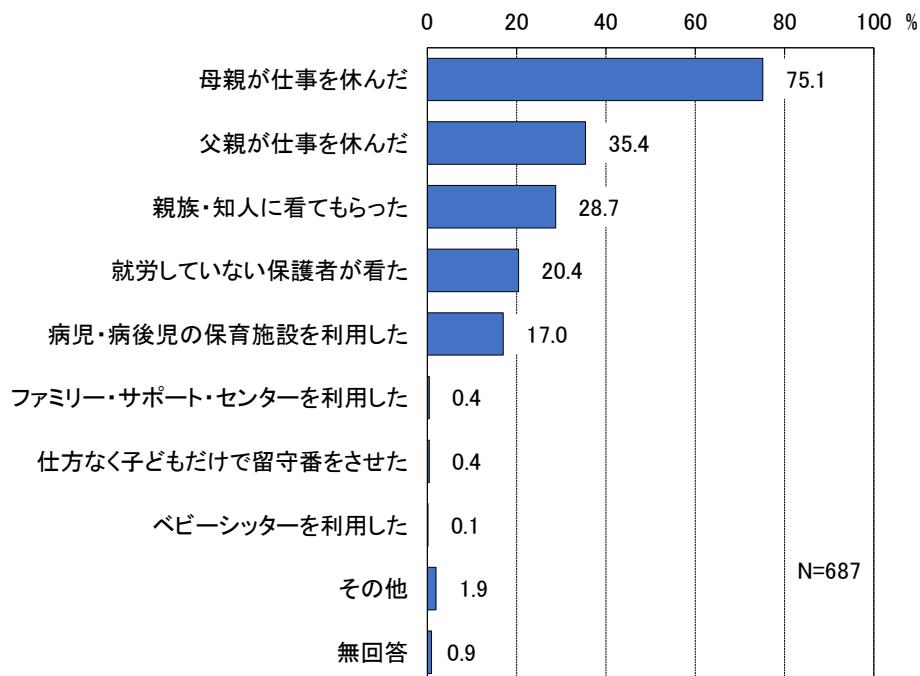
問17 問9で幼稚園や保育園などを定期的に利用している「1」に○をつけた方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育園などを利用できなかつたことはありますか。



- 平日の定期的な教育・保育事業を利用している保護者のうち、この1年間に、対象の子どもが病気やケガで幼稚園・保育所などを利用できなかつたことが「あった」と回答した人は 89.3% となっている。

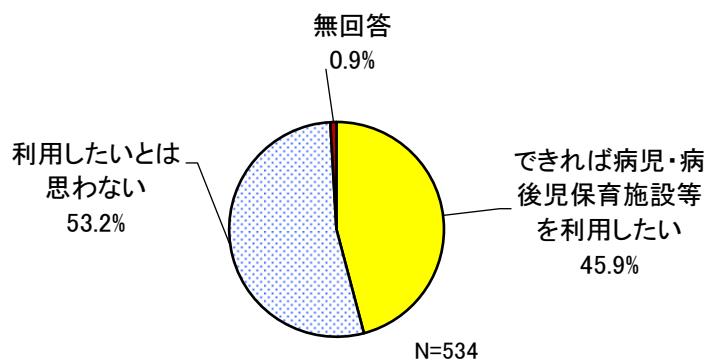
問17-1 宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園・保育園などを利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 子どもが病気やケガで幼稚園・保育所を利用できなかった場合の対処方法をたずねたところ、「母親が仕事を休んだ」という回答が 75.1% と最も多く、「父親が仕事を休んだ」が 35.4% で、それに続いている。

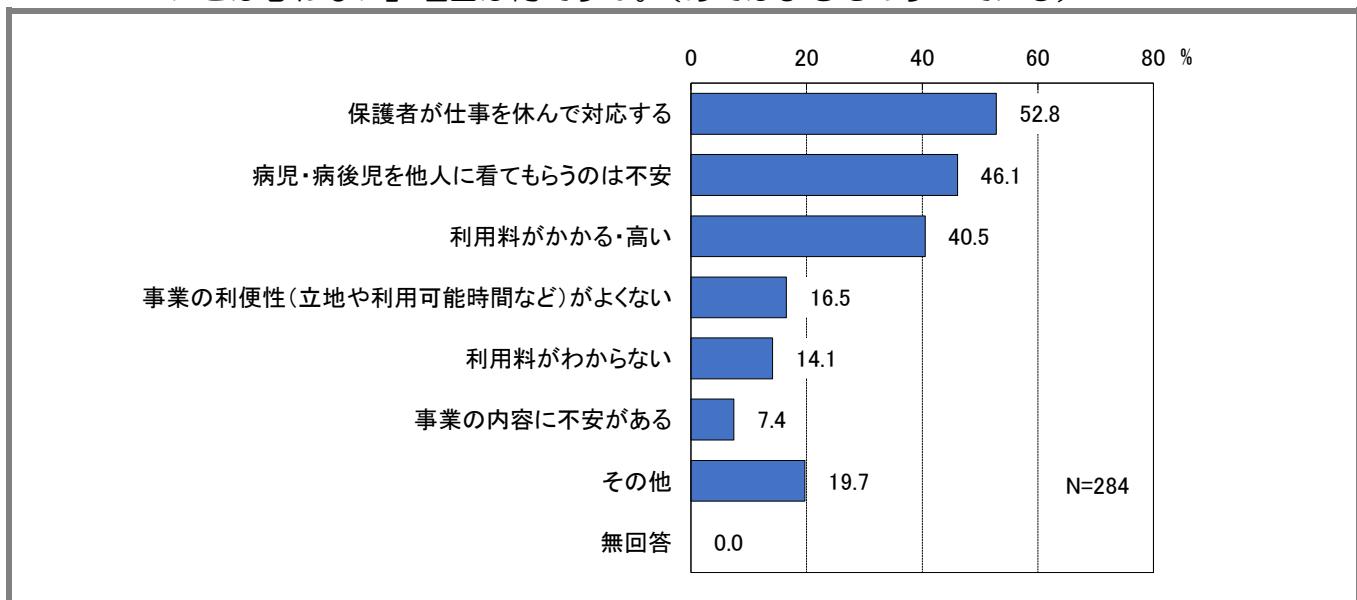
問17-2 問17-1で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。



- 両親のいずれかが仕事を休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った人の割合は 45.9% となっている。

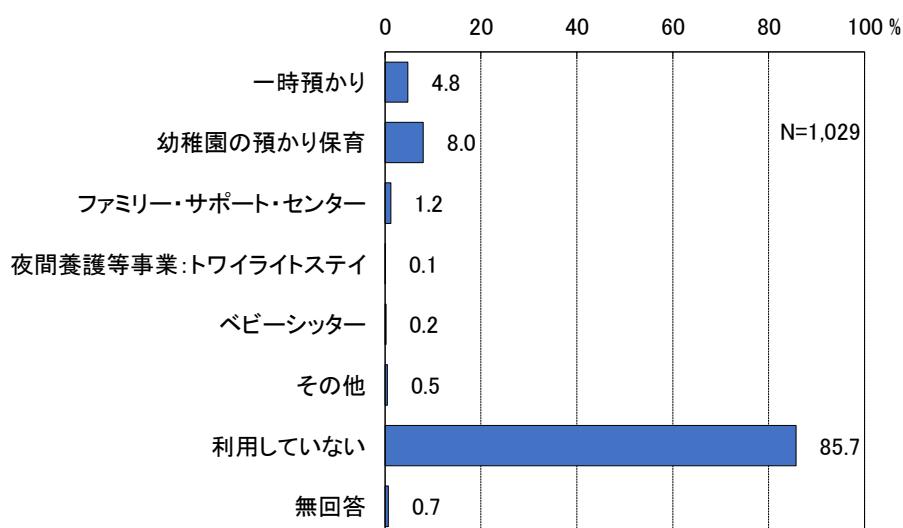
問17-3 問17-2で「利用したいとは思わない」に回答した方にうかがいます。「利用したいとは思わない」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「保護者が仕事を休んで対応する」という回答が 52.8%と最も多く、以下、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 46.1%、「利用料がかかる・高い」が 40.5%と続いている。
- 「その他」の内容としては、「子どもがかわいそうだから」「そばにいてあげたいから」「他の病気の感染が心配だから」が多くあがっている。

## 7. 不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について

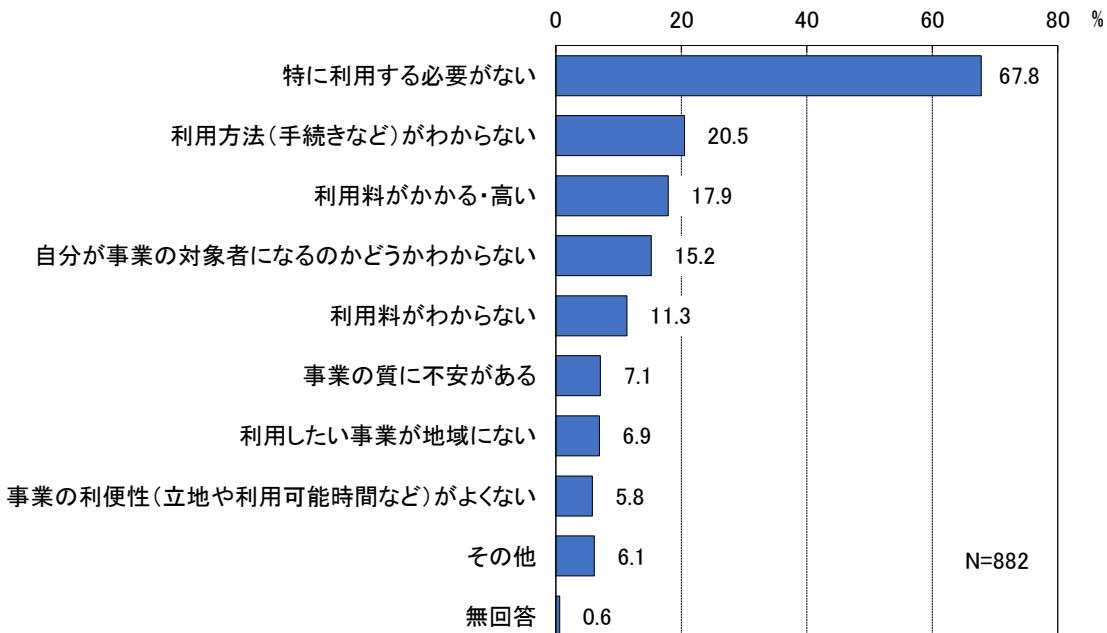
問 18 宛名のお子さんについて、現在、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、保護者の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 私用や保護者の通院、不定期の就労などのため、不定期に利用している事業があるか尋ねたところ、「利用していない」と回答した人は 85.7% で、何らかの事業を利用している人は 13.6% となっている。

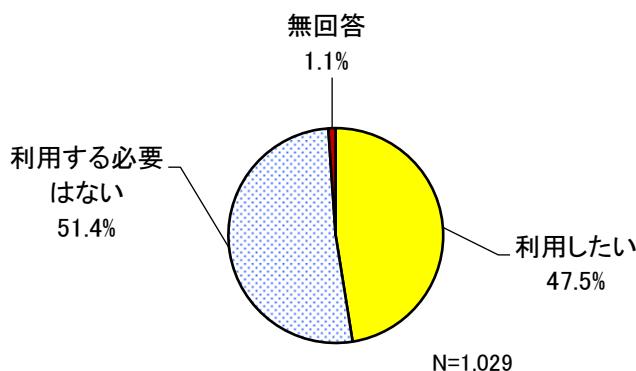
## 問18-1 問18で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

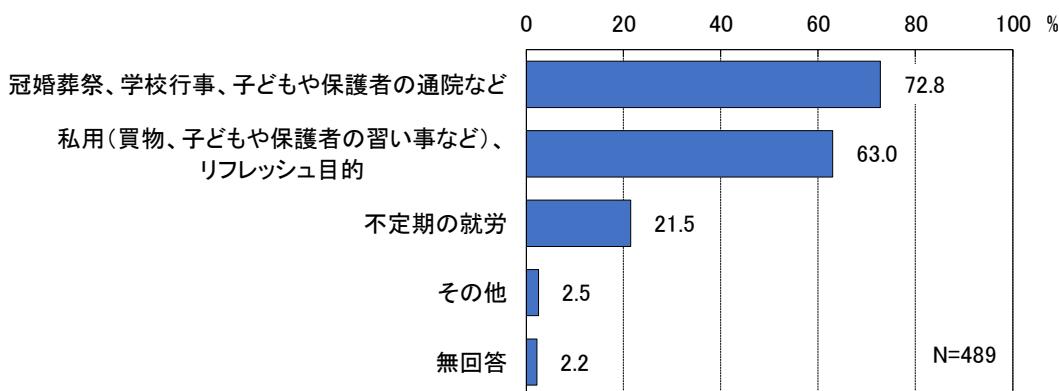


- 「利用していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」と回答した人が 67.8%と大半を占めているが、それ以外の理由としては「利用方法（手続きなど）がわからない」（20.5%）や「利用料がかかる・高い」（17.9%）が上位にあがっている。

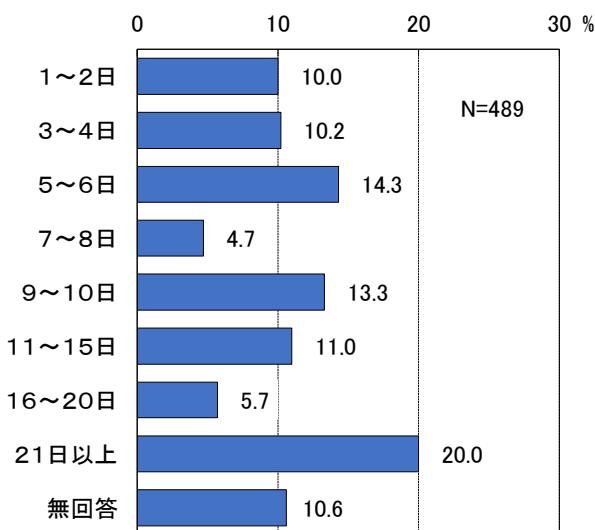
問 19 すべての方にうかがいます。今後、宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、保護者の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用が必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



#### 【目的の内訳】

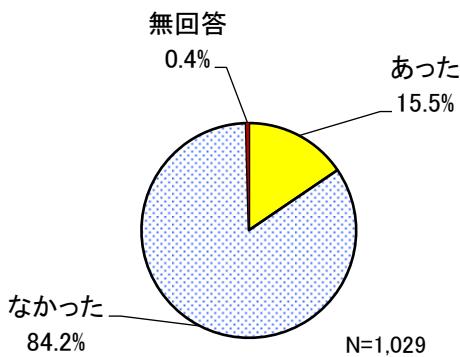


#### 【年間必要日数】

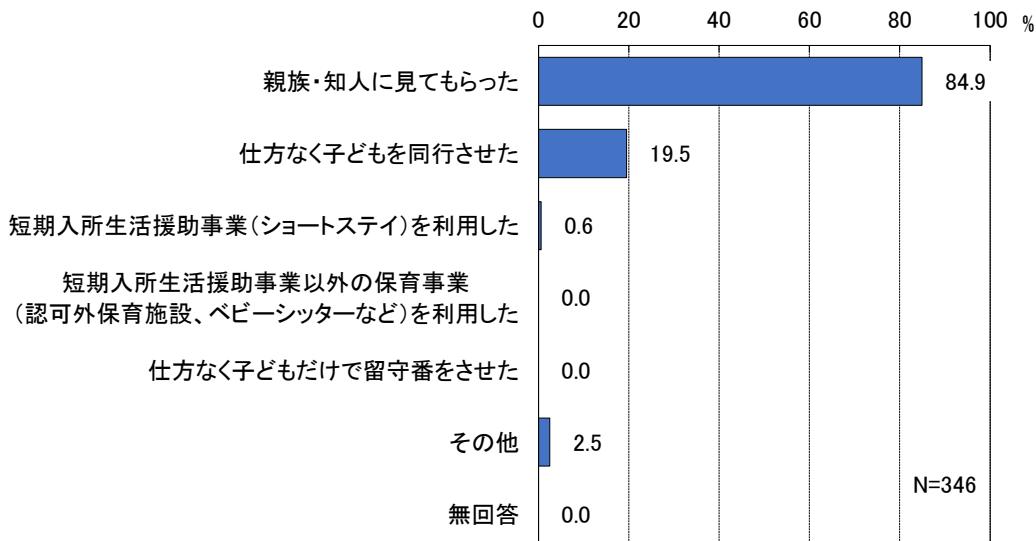


- 私用や保護者の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を「利用したい」と回答した人の割合は47.5%となっている。
- 目的としては、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院など」(72.8%) や「私用、リフレッシュ目的」(63.0%) が多く、年間必要日数は「21日以上」(20.0%) が多くなっている。

問 20 すべての方にうかがいます。この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならぬことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



#### 【対処方法の内訳】

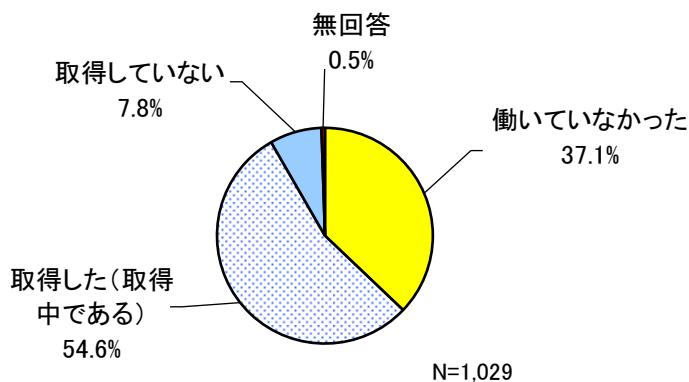


- この1年間に、保護者の用事などにより、就学前の子どもを泊まりがけで家族以外に見てもらわなければならないことが「あつた」と回答した人の割合は15.5%となっている。
- 対処方法の内訳としては、「親族・知人に見てもらった」が84.9%と大半を占めており、「仕方なく子どもを同行させた」が19.5%でそれに続いている。

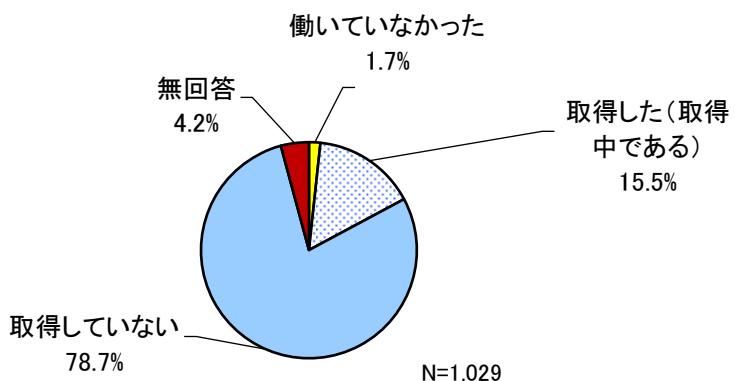
## 8. 育児休業制度など職場の両立支援制度について

問21 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
母親、父親それぞれについて、お答えください。（1つだけ○）

### 【母親】



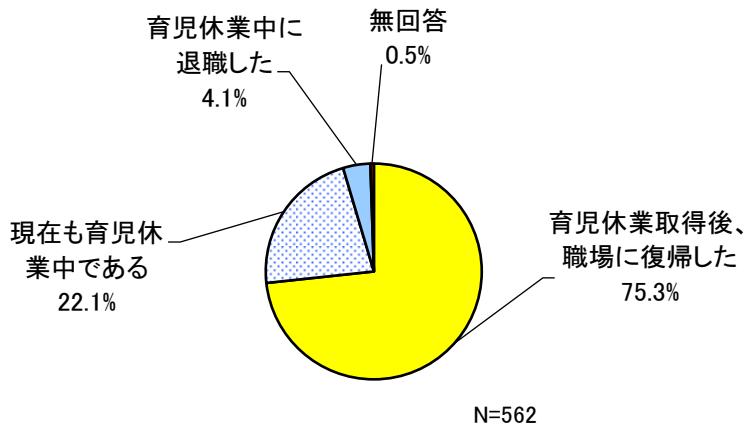
### 【父親】



- 育児休業を「取得した（取得中である）」割合は、母親で54.6%、父親で15.5%となっているが、無回答と働いていなかった人を除くと、母親で87.5%、父親で16.4%となる。

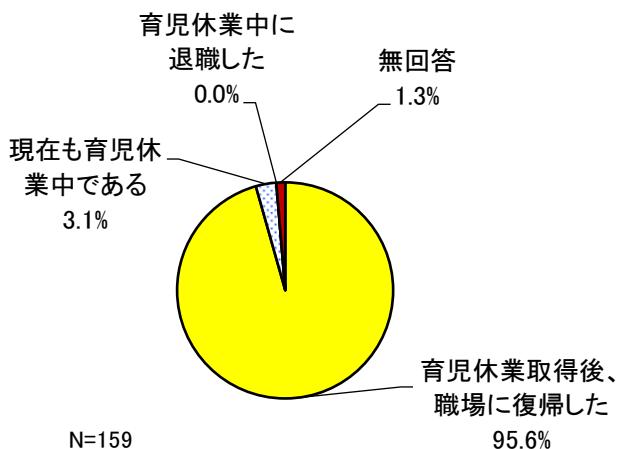
問21-1 問21で「2.取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。  
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つだけ○）

【母親】



N=562

【父親】

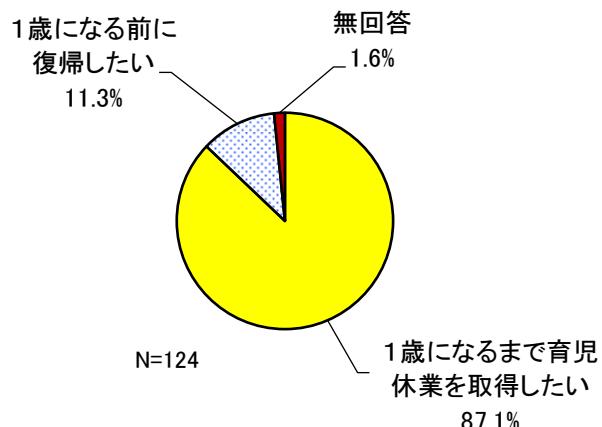


- 「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した人の割合は、母親で 75.3%、父親で 95.6%となっている。

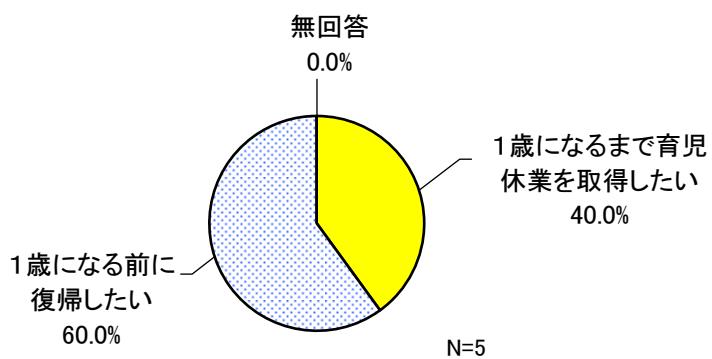
問21-2 問21-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

【母親】



【父親】

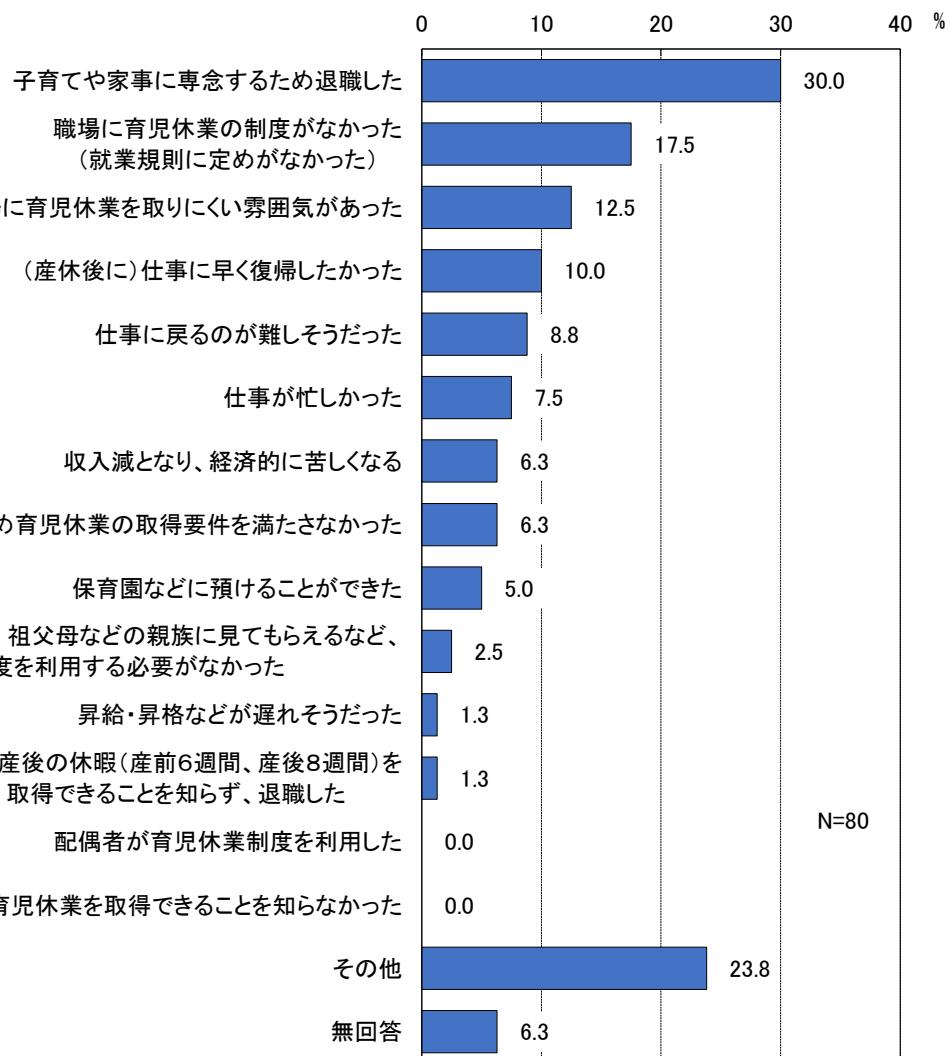


- 子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、「1歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した人の割合は、母親で87.1%、父親で40.0%となっている。

問21-3 問21で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

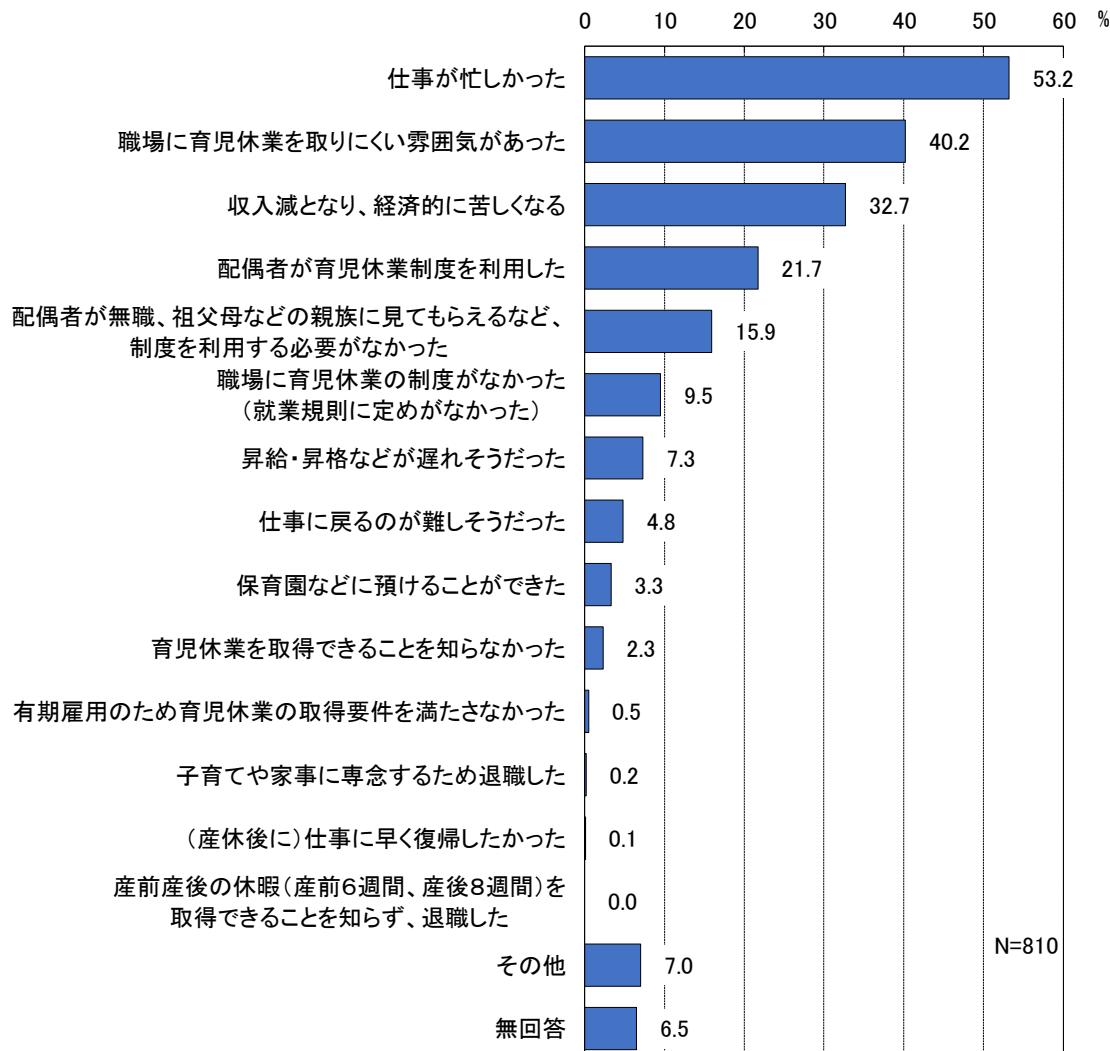
取得していない理由は何ですか。母親、父親それについて、あてはまるすべての番号を( )内に数字でご記入ください。

**【母親】**



- 母親が育児休業を取得しなかった理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」(30.0%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(17.5%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(12.5%)が上位にあがっている。

## 【父親】



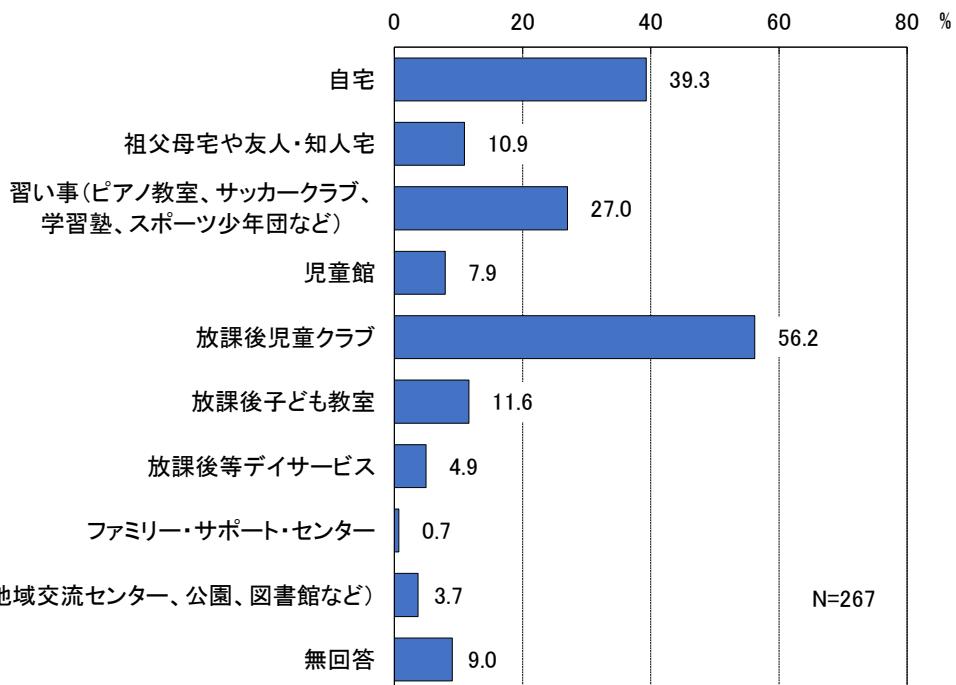
- 父親が育児休業を取得しなかった理由については、「仕事が忙しかった」(53.2%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(40.2%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(32.7%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(21.7%) が上位にあがっている。

## 9. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

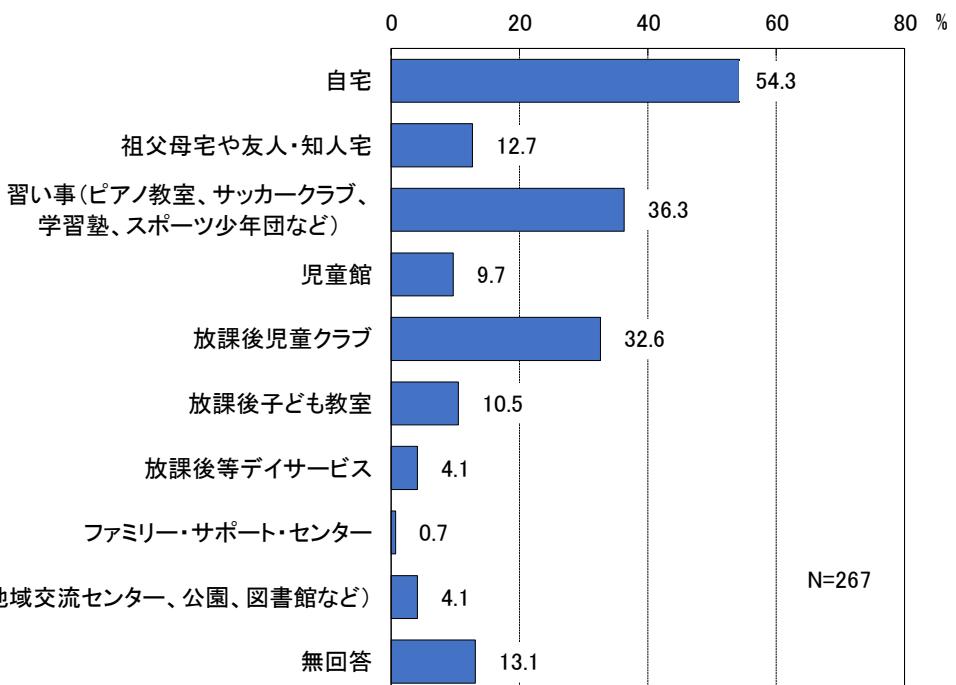
問22 宛名のお子さんが5歳以上ある方にうかがいます。

お子さんが小学生になられた時、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）それぞれの欄であてはまる番号すべてに○をつけてください。

### 【低学年（1～3年生）】



### 【高学年（4～6年生）】

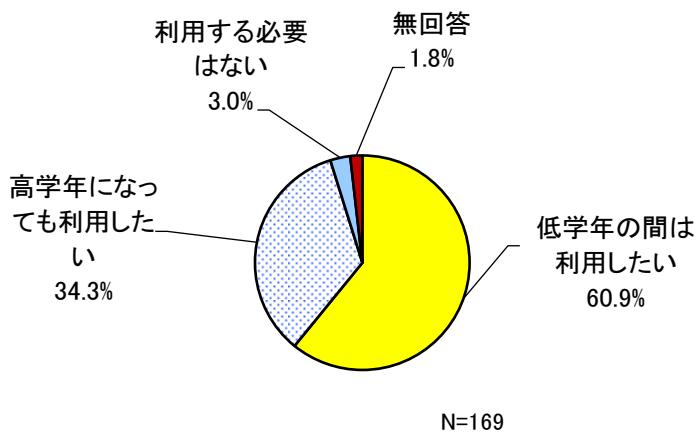


- 放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ」を希望する人の割合は、小学校低学年で 56.2%、高学年で 32.6% となっている。

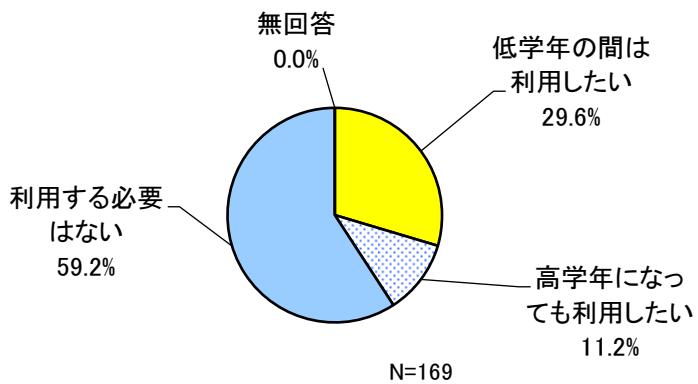
問23 問22で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれについて回答してください。

【平日】

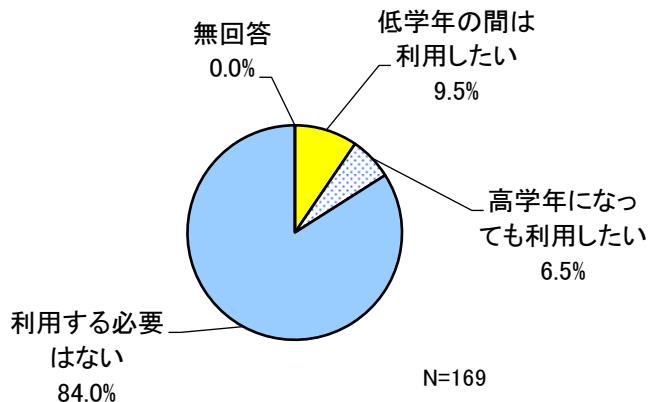


【土曜日】

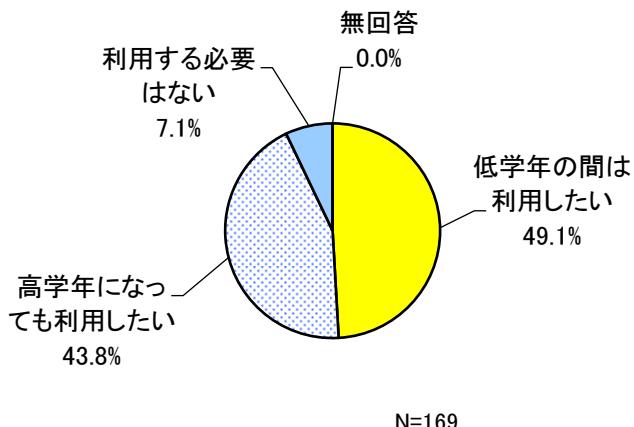


- 「放課後児童クラブ」と回答した人に、改めて平日の利用意向を尋ねたところ、「低学年の間は利用したい」は60.9%、「高学年になつても利用したい」は34.3%となっている。
- 土曜日については、「低学年の間は利用したい」は29.6%、「高学年になつても利用したい」は11.2%となっている。

## 【日曜日・祝日】



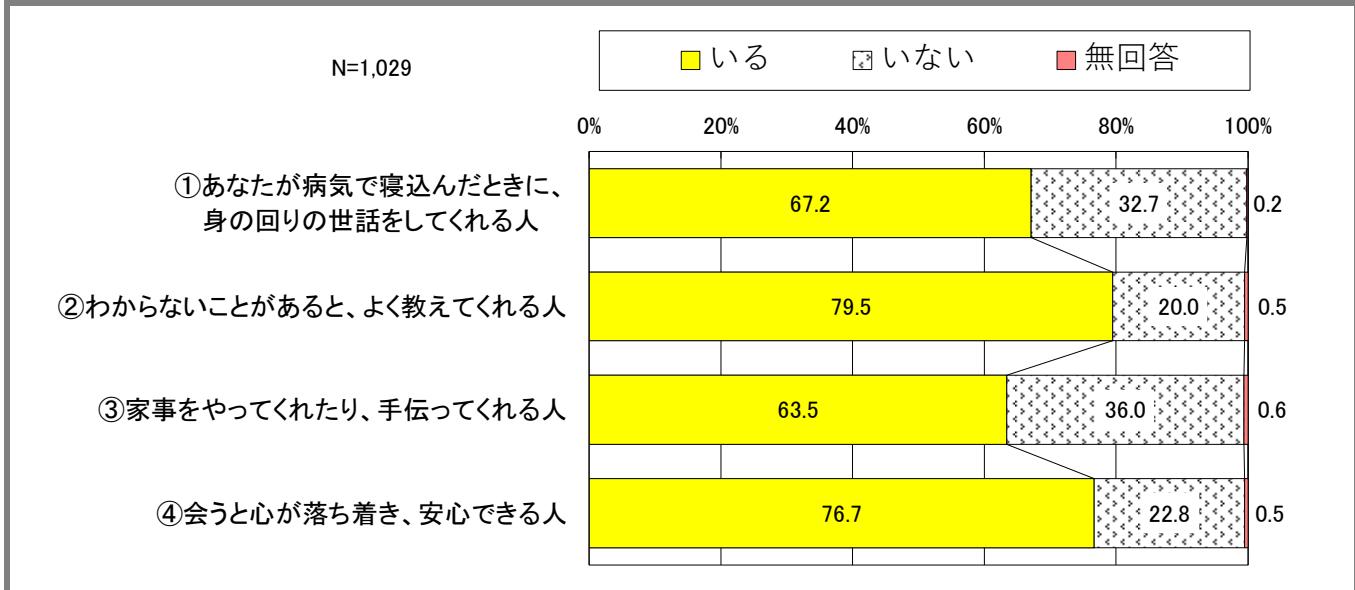
## 【長期休暇中】



- 日曜日・祝日については、「低学年の間は利用したい」は9.5%、「高学年になつても利用したい」は6.5%となっている。
- 夏休み・冬休みなどの長期休暇中については、「低学年の間は利用したい」は49.1%、「高学年になつても利用したい」は43.8%となっている。

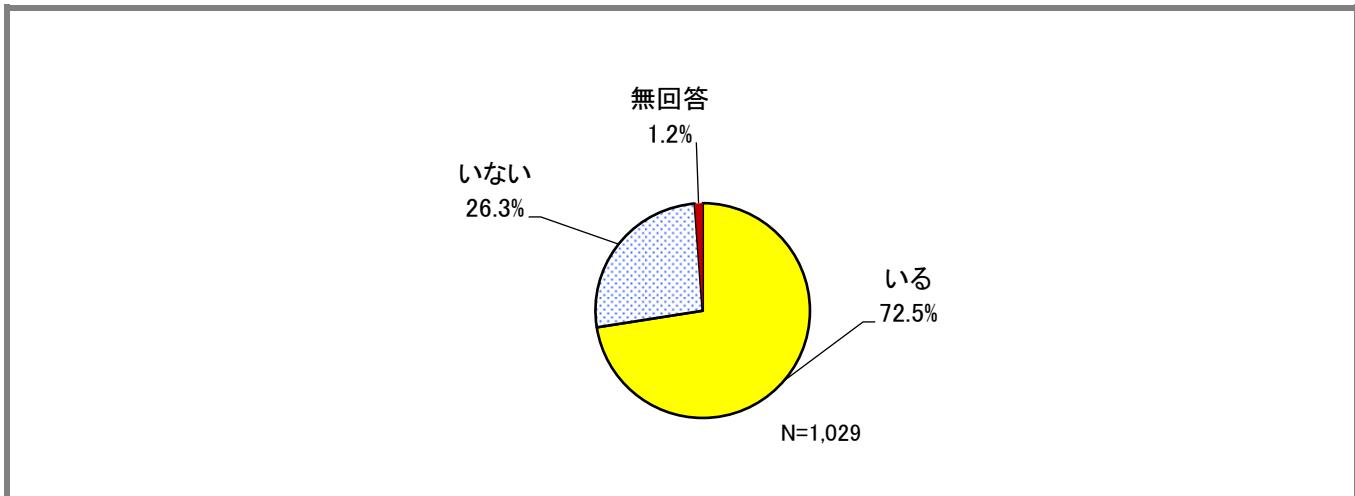
## 10. 子育て全般について

問24 あなたのお住まいの近く（おおむね30分以内）に、①～④に該当する人（親族、友人、同僚など）がいますか。（①～④のそれぞれについて1つだけ○）



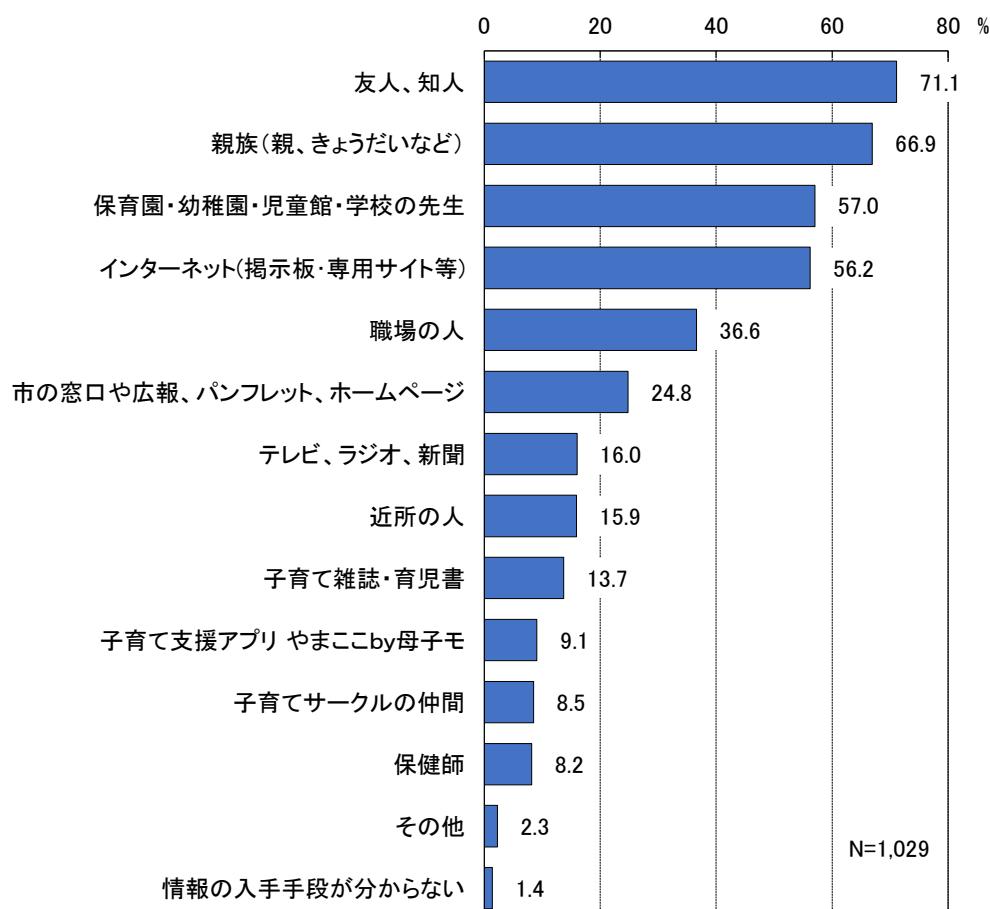
- 「あなたが病気で寝込んだときに、身の回りの世話をしてくれる人」が「いる」と回答した人は67.2%、「わからないことがあると、よく教えてくれる人」が「いる」と回答した人は79.5%、「家事をやってくれたり、手伝ってくれる人」が「いる」と回答した人は63.5%、「会うと心が落ち着き、安心できる人」が「いる」と回答した人は76.7%となっている。

問25 あなたは子どもと一緒に遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいますか。



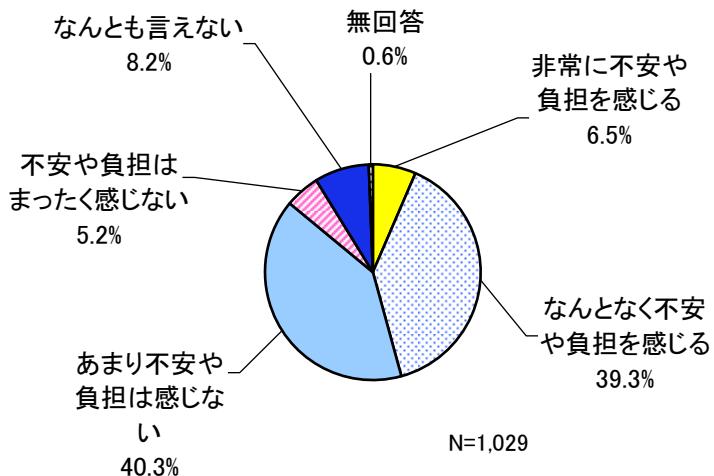
- 子どもと一緒に遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間が「いる」と回答した人の割合は72.5%、「いない」と回答した人の割合は26.3%となっている。

## 問26 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。（あてはまるものすべてに○）



- 子育てに関する情報の入手先については、回答割合が高い順に「友人・知人」(71.1%)、「親族(親、きょうだいなど)」(66.9%)、「保育園・幼稚園・児童館・学校の先生」(57.0%)、「インターネット(掲示板・専用サイト等)」(56.2%)と続いている。

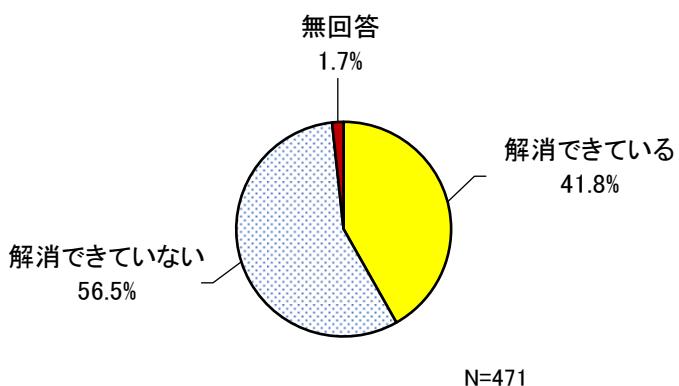
問27 子育てに関して不安や負担を感じますか。（1つだけ○）



- 子育てに「非常に不安や負担を感じる」と回答した人の割合は 6.5%で、「なんとなく不安や負担を感じる」(39.3%)と回答した人を合わせると 45.8%となっている。

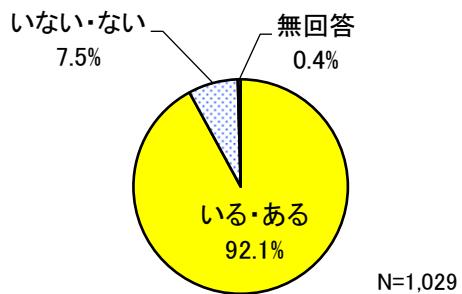
問27-1 問 27 で「1. 非常に不安や負担を感じる」「2. なんとなく不安や負担を感じる」に○をつけた方にうかがいます。

その不安や負担は解消できていますか。



- 「不安や負担を感じる」と回答した人のうち、その不安や負担が「解消できている」と回答した人の割合は 41.8%で、「解消できていない」と回答した人の割合 (56.5%) を 14.7 ポイント下回っている。

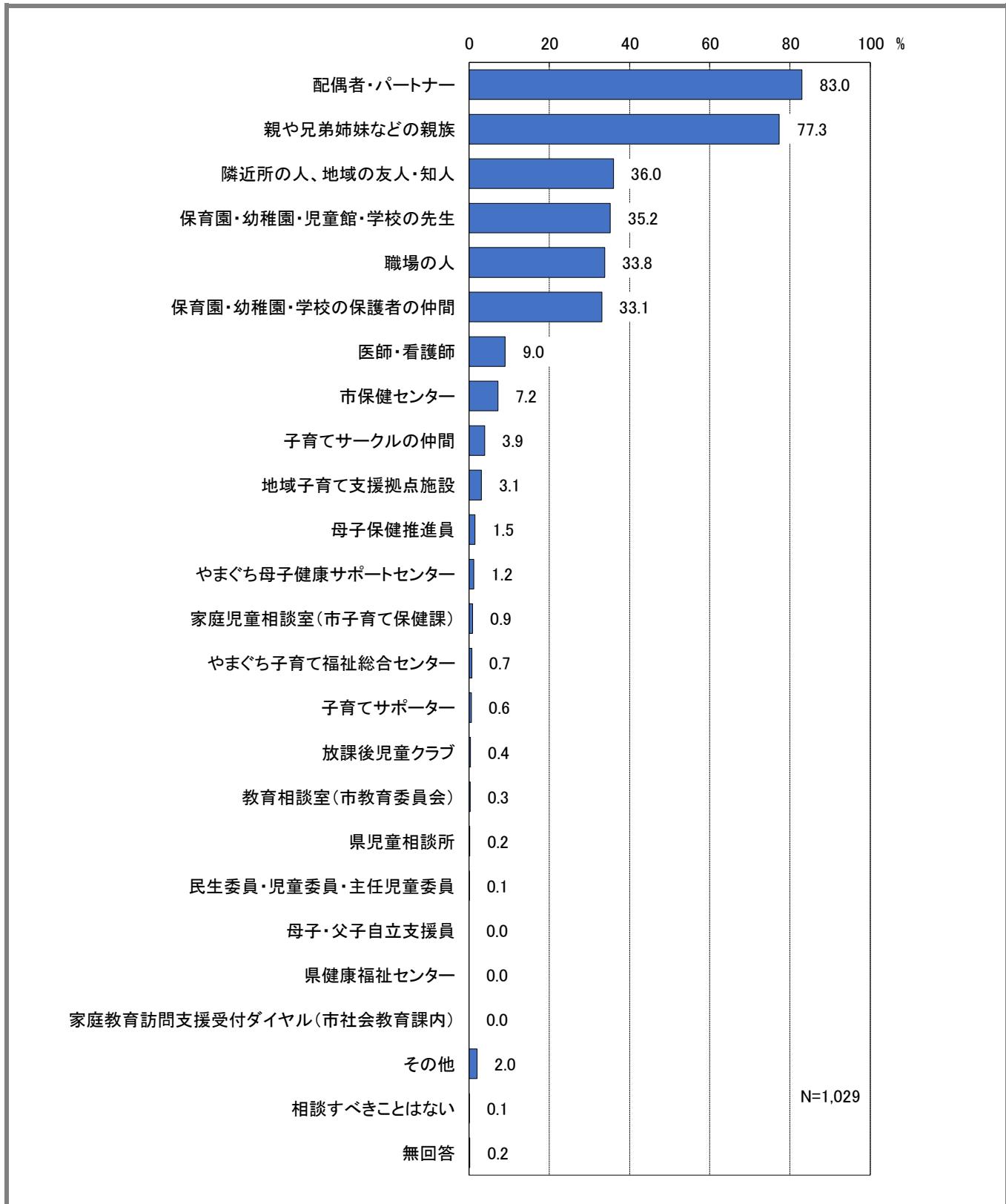
問28 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所はありますか。



- 子育てについて気軽に相談できる人や場所が「いない・ない」と回答した人の割合は7.5%となっている。

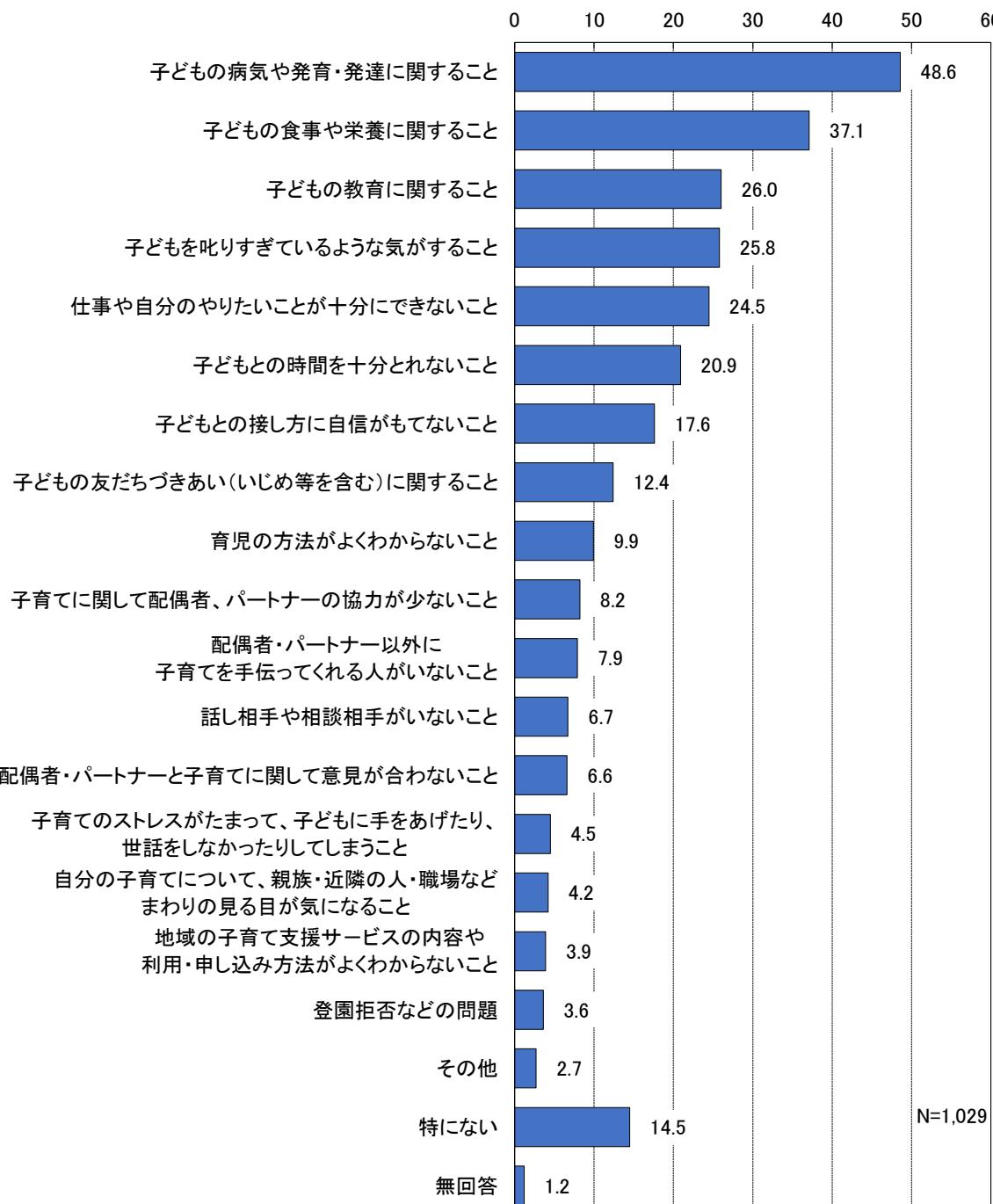
## 問28-1 問28で「1.いる・ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）



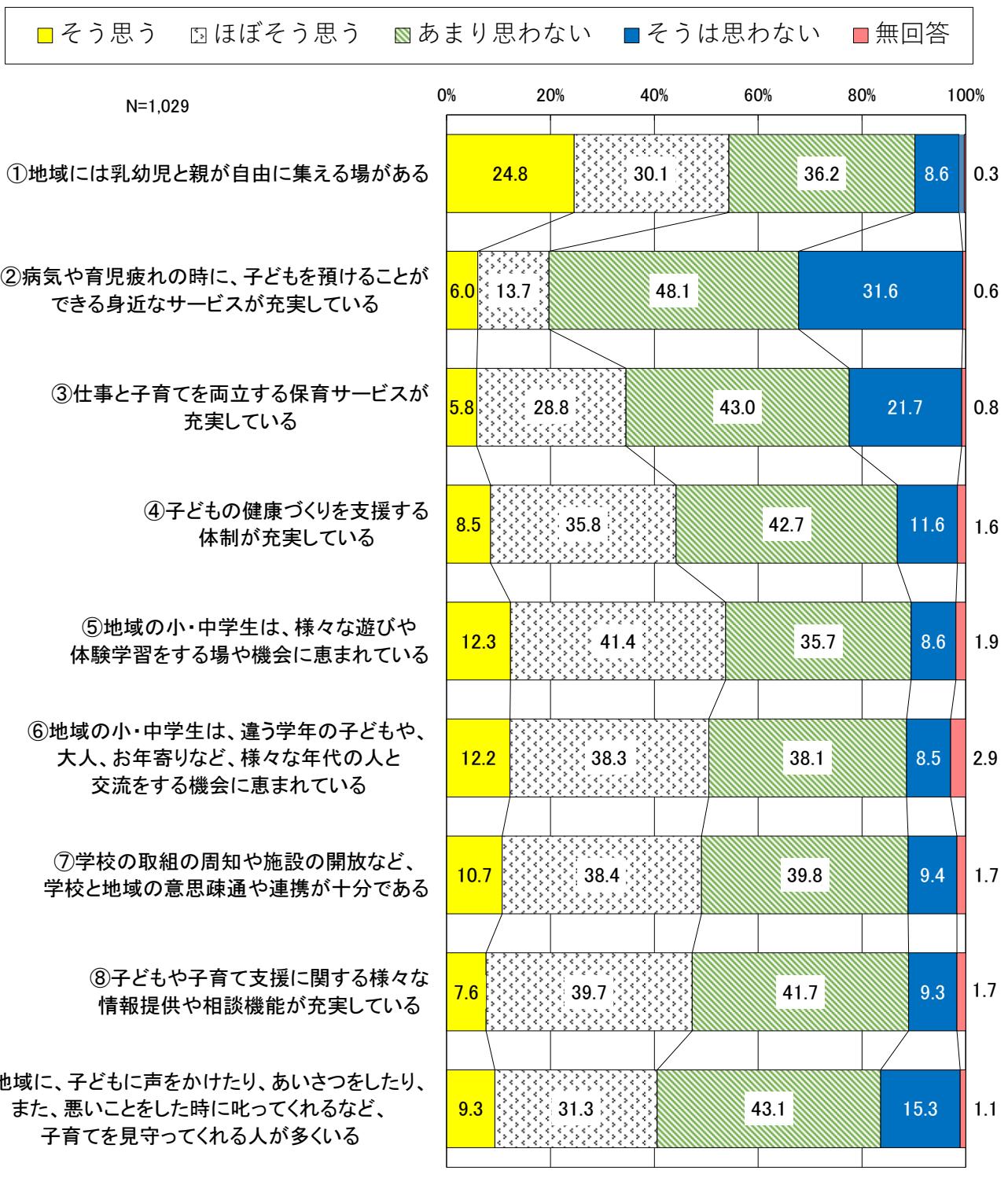
- 子育てに関する相談先については、「配偶者・パートナー」(83.0%)、「親や兄弟姉妹などの親族」(77.3%) が上位を占めている。

問29 子育てに関して、これまでに困ったことや、現在、悩んでいることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



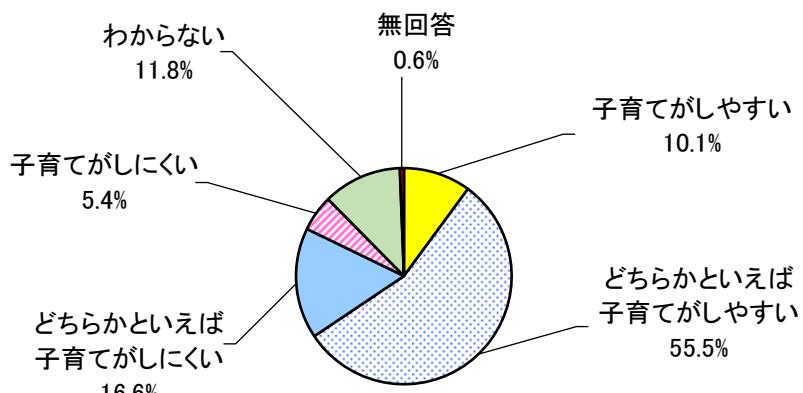
- 子育てに関して困ったり悩んだりしていることとしては、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が48.6%と最も多く、以下、「子どもの食事や栄養に関すること」(37.1%)、「子どもの教育に関すること」(26.0%)、「子どもを叱りすぎているような気がすること」(25.8%)、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」(24.5%)と続いている。

問30 あなたが現在住んでいる地域の子育て環境について、あなたの意見を回答してください。  
 (①～⑨のそれぞれについて1つだけ○)



- 地域の子育て環境についての意見は上のとおりで、「そう思う」「ほぼそう思う」という回答割合が高かったのは、「地域には乳幼児と親が自由に集える場がある」(54.9%)、「地域の小・中学生は、様々な遊びや体験学習をする場や機会に恵まれている」(53.7%)で、逆に回答割合が低かったのは、「病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができる身近なサービスが充実している」(19.7%)となっている。

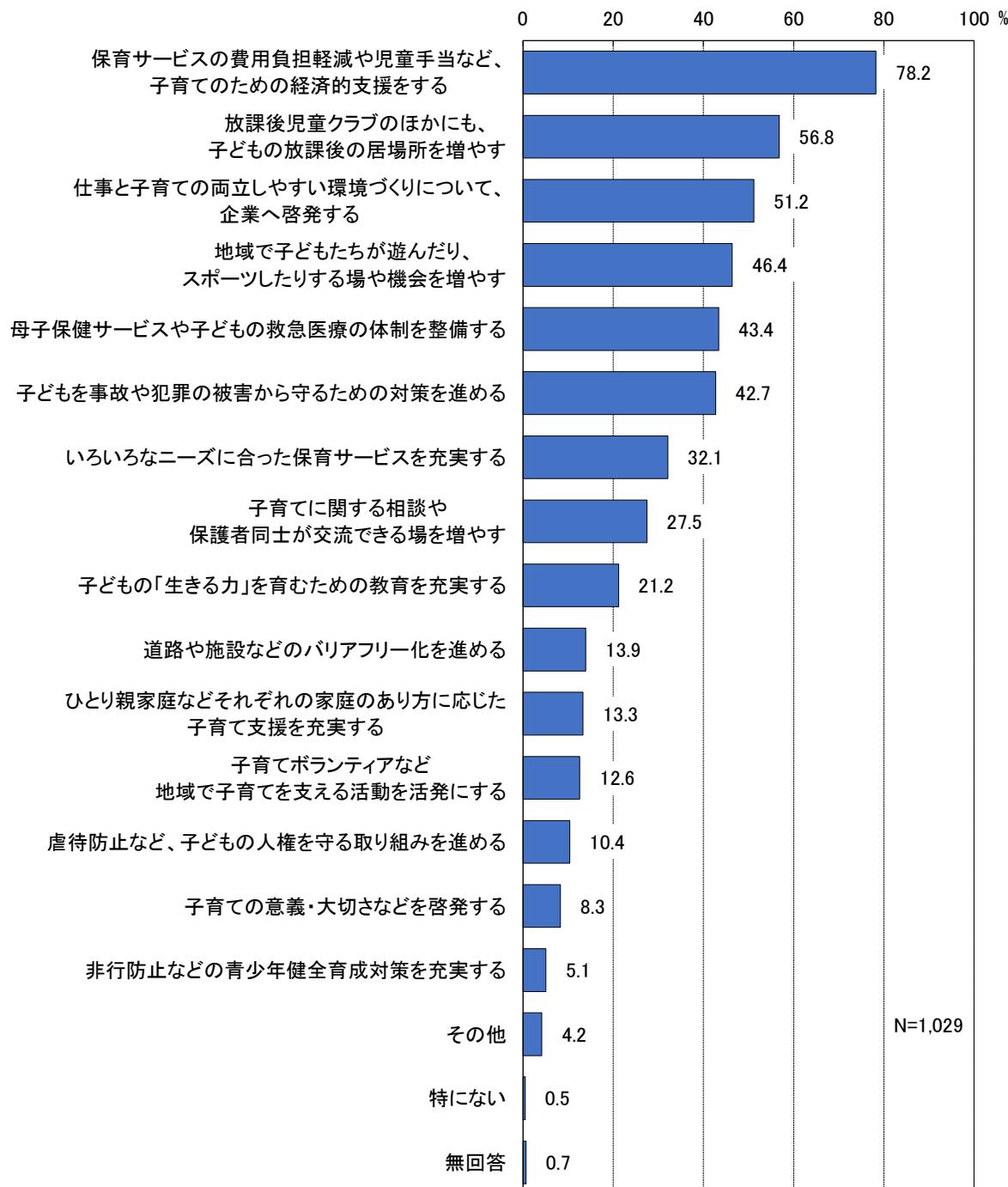
## 問31 いろいろなことを総合して、山口市は子育てがしやすいと思いますか。（1つだけ○）



N=1,029

- 総合的に見て、山口市は「子育てがしやすい」(10.1%)、「どちらかといえば子育てがしやすい」(55.5%)と回答した人の割合は65.6%で、「子育てがしにくい」(5.4%)、「どちらかといえば子育てがしにくい」(16.6%)と回答した人の割合(22.0%)を43.6ポイント上回っている。

問32 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。  
(重要なものの5つに○)



- 子どもを健やかに生み育てるために市に期待することとしては、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援をする」が78.2%と最も多く、以下、「放課後児童クラブのほかにも、子どもの放課後の居場所を増やす」(56.8%)、「仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについて、企業へ啓発する」(51.2%)、「地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす」(46.4%)、「母子保健サービスや子どもの救急医療の体制を整備する」(43.4%)、「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」(42.7%)と続いている。